捃拾帖

明治十九年

廿四

A 00
6010

牛乳試驗器發賣廣告

方今牛乳ノ需用甚タ廣ク其良否ハ人身ノ衛生ニ關スル大ナリ故ニ之ヲ驗スルノ方法種々アリト雖モ簡單ニシテ如何ナル人ト雖モ容易ニ其善惡精否ヲ驗別スルノ器甚タ稀ナリ今マ米國ヨリ某氏ノ齎ス所ノ簡易驗乳器ヲ摸製シ幸ニ今回ノ乳牛共進會ニ際シ汎ク江湖ノ貴需ニ應セントス四方ノ諸賢希クハ御愛購アランコヲ

價
壹個ニ付 金三拾五錢
拾個以上壹個ニ付 金三拾三錢五厘
百個以上壹個ニ付 金三拾貳錢

明治十九年三月

芝區日蔭町壹丁目壹番地
小林幸次郎 敬白

簡易驗乳器用法

木製牛乳受盤中央ノ凹所ニ牛乳少量ヲ盛リ其上ニ色分ケヲ付シタル硝子板ヲ置ク片ハ其牛乳ノ精否ニ由リ周圍上中下ノ色分ケニ隨ヒ種々異同ノ乳色ヲ呈スルヲ以テ其善惡ヲ鑑別スベシ

廿四

干製素色刻昆布

此ノ刻昆布ハ、昆布ヲ生ノ侭刻ミシ生ノ色ニテ、價ハ安ク、アラメニ次キ、味ハ旨ク、ダシ、ノキクコト、鰹節ノ如シ緑青其他ノ染料ヲ用ヒザレハ一切害毒ナシ常ニ之ヲ食セバ、[illegible]ノ治シシツビゼン、クサ、カサ、ノ毒ヲ追出ス且ツ干製ナレバ取置キニ便ナリ、実ニ総菜中ノ隊長ニテ、経済ノ徳用、此品ニ愈ル、モノナシ、

一人[illegible]五匁ニテ十分ナリ、小玉一ツ、十六人前トナル、

大玉 八百目 廿九戔

小玉 八十目 三戔

沢山御求メノ方ヘハ直引仕候

東京本郷弓町一三九

開北社製造

[illegible]御注文あらハ五玉以上ハ配達仕候

A00-6010

東京帝國大學圖書之印

B 61009

男爵田中美津男氏寄贈 先代田中芳男男爵旧蔵書 昭和七年

牛乳試驗器發賣廣告

方今牛乳ノ需用甚タ廣ク其良否ハ人身ノ衛生ニ關スル大ナリ故ニ之ヲ驗スルノ方法種々アリト雖ヒ簡單ニシテ如何ナル人ト雖モ容易ニ其善悪精否ヲ驗別スルノ器甚タ稀ナリ今マ米國ヨリ某氏齎ス所ノ簡易驗乳器ヲ摸製シ幸ニ今回ノ乳牛共進會ニ際シ汎ク江湖ノ貴需ニ應セントス四方ノ諸賢希クハ御愛購アランコトヲ

價
壹個ニ付　金三拾五錢
拾個以上壹個ニ付　金三拾三錢五厘
百個以上壹個ニ付　金三拾貳錢

明治十九年三月

芝區日蔭町壹丁目壹番地
小林幸次郎 敬白

簡易驗乳器用法

木製牛乳受盤中央ノ凹所ニ牛乳少量ヲ盛リ其上ニ色分ケヲ付シタル硝子板ヲ置クトキハ其牛乳ノ精否ニ由リ周圍上中下ノ色分ケニ隨ヒ種々異同ノ乳色ヲ呈スルヲ以テ其善悪ヲ鑑別スベシ

干製素色刻昆布

此ノ刻昆布ハ、昆布ヲ生ノ侭刻ミシ生ノ色ニテ、價ハ安ク、アラメニ次キ、味ハ旨ク、ダシ、ノキクコト、鰹節ノ如シ緑青其他ノ染料ヲ用ヒザレハ一切害毒ナシ常ニ之ヲ食セバ、[illegible]ノ治シシツビゼン、クサ、カサ、ノ毒ヲ追出ス且ツ干製ナレバ取置キニ便ナリ、実ニ総菜中ノ隊長ニテ、經済ノ徳用、此品ニ愈ル、モノナシ、一人前五匁ニテ十分ナリ、小玉一ツ、十六人前トナル、

大玉 八百目 廿九戔　小玉 八十目 三戔

沢山御求メノ方ヘハ直引仕候、

東京本郷弓町一三九
開北社製造

まかきまて御注文あらハ五玉以上ハ配達仕候

A00-6010
東京帝國大學圖書之印
B 61009
男爵田中美津男氏寄贈 先代田中芳男男爵旧蔵書 昭和七年

來ル明治十九年一月五日新年宴會被爲
行候條午前十時四十分參　內可有之旨
被　仰出候此段申入候也

明治十八年十二月廿八日

宮內大臣伯爵伊藤博文

元老院議官田中芳男殿

大禮服著用

兼テ病氣或ハ當日事故アツテ參內相
成難キ向ハ其旨來十九年一月二日中
ニ届書差出サルヘシ

本月十一日紀元節ニ付宴會被爲行候條
午前十一時參　內可有之旨被　仰出候
此段申入候也

明治十九年二月五日

宮內大臣伯爵伊藤博文

元老院議官田中芳男殿

大禮服著用

席次上ノ都合有之ニヨリ當日參內ノ
有無來ル九日中必ス宮內大臣へ宛式
部職へ届出ラルヘシ

謹啓陳者来ル二月廿四日二品能久親王殿
下御邸ニ於テ夜會御催ニ付同日午後九
時御来臨被下候様可申進旨殿下ノ命ニ
依リ拙者ヨリ此段御案内仕候敬具

明治十九年一月廿一日　宮内大書記官三宮義胤

元老院議官田中芳男殿
同　令　夫　人

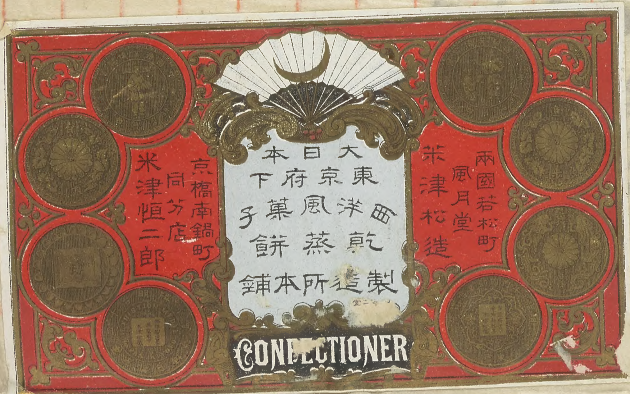
追テ當日御着服ハ燕尾御入来ノ節ハ本紙御持參被下
度且諾否ノ御回答乞候也

謹啓陳者来ル三月四日延遼館ニ於テ二品
彰仁親王殿下夜會御催ニ付同日午後九時
御来臨被下候様可申進旨殿下ノ命ニ依リ
拙者ヨリ此段御案内仕候敬具

明治十九年二月十三日　宮内書記官三宮義胤

元老院議官田中芳男殿
同　令　夫　人

追テ當日御入来ノ節ハ本紙御持參被下度且諾否ノ御回
答ヲ乞フ
文官ハ通常禮服（燕尾）陸軍将校ハ正服海軍将校ハ大禮
服ニテ勲章御佩用之事



今[illegible]二十四号議案第二讀會ニ於テ更ニ

会[illegible]委員ヲ設クルニ決シ其委員ハ前

[illegible]有之候此段及御通知候也

十七年一月廿四日

佐野議長

東洋繪畫共進會開場式順序

一四月一日午前第九時幹事長以下諸掛員一同フロクコート着用出頭

但羽織袴代用苦シカラズ

一午前九時三十分來會ノ勅奏官以下優待人並出品人出品代理人フロクコート着用參着設ノ席ニ休憩

但羽織袴代用苦シカラズ

一午前九時五十分正副総裁來着設ノ席ニ休憩

一同時幹事長以下諸掛員及來會ノ勅奏官優待人出品人出品代理人式場ニ先着

一午前十時総裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ニ着席

一幹事進テ開場ノ旨ヲ總裁ニ申ス○總裁ハ本會ヲ開場スベキ旨ヲ演達ス○出品人總代進テ總裁ニ向ヒ祝詞ヲ演ス○幹事長祝詞ヲ演ス

一總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ヲ退ク時ニ參會ノ諸員一同敬禮次テ式場ヲ退キ設ノ席ニ休憩

一當日參會ノ勅奏官及優待人ハ參着ノ節控所及列品巡覽ノ筋モ掛員之ヲ案內ス

拝啓陳者四月一日上野公園内東洋繪畫共進會場ニ於テ開場式執行候條當日午前九時御臨場被下度此段御案内申上候敬具

明治十九年三月廿六日　東洋繪畫共進會副總裁

伊達宗城

田中芳男殿

追テ御來場ノ節ハ此招状門衛ニ御示シ被下度候也

フロックコート御着用之事但羽織袴着用モ妨ナシ

田中芳男殿

	出品人	出品代理人
新聞記者	△出品人總代祝詞席	事務掛
警察署長		審査員
區長		學術委員
憲兵長		正副幹事
奏任官		審査長
華族		幹事長
警視總監		名譽會員
勅任官		
各大臣		
	總裁	副總裁

領收之證

一 書状 壱通

明治十九年九月十一日

東京學士會院

領收之證

一 [illegible]

明治十九年七月八日

博物館

甲州雨宮製
葡萄酒

藥物問屋 青木惣太郎
神田區通新石町十四番地

表状大略圖
竪曲尺壹尺四寸
横巾貳尺

WELTAUSSTELLUNG 1873 IN WIEN
DIE INTERNATIONALE JURY
HAT DEM
DEPARTEMENT WAKAYAMA
IN JAPAN
DIE
VERDIENST - MEDAILLE
ZUERKANNT
DER PRÄSIDENT
DER KAISERLICHEN AUSSTELLUNGS COMMISSION

明治六年墺國維府大博覧會ニ於テ若榮居
製ス所ノ級流數品ヲ陳列セシニ量ラス今般
其國審査官ヨリノ賞牌并当縣廳ヨリ祝
酒料等ヲ賜フ實ニ妙居ノ面目何ノ謂モ加之ニ
如ニ依テ右表状ヲ扇面ニ縮写シ是ヲ頒ノ幸福
技藻ニテ諸己ノ一粲ニ供ス

有功賞牌

皇曆明治六年
澳國維府
大博覧會

義國審査官ヨリ和歌山縣領與ス
澳國博覧會大總裁皇族ライネル
同　總裁シエワルツセニホルニ
西洋千八百七十三年八月十八日

表
經二寸四分
目方四十三匁

博覧會事務局

和歌山縣
明治六年澳國維府大博覧會ニ於テ
萬國審査官ヨリ領與スル所ノ有功
賞牌此度澳國政府ヨリ配達ニ相成
候ニ付相達候事
明治七年十一月十四日
澳國博覧會總裁 大藏卿大隈重信
同副總裁 議官佐野常民

金五百疋
第二大區一小區
湊北町一丁目
平民 土橋表助

其方製造之織物先年澳國
大博覧會ニ陳列候處今般萬
国審査官ヨリ有功賞牌下附ニ
相成候儀本縣物産之聲譽ヲ
相成神妙之事ニ付特別之詮議
ヲ以テ祝酒料トシテ前書之金
之内ヨリ本行之通遣之候条自
今益勉勵可致候事
明治九年三月二日
和歌山縣

第二大區一小區
湊北町一丁目
平民 土橋表助
明治六年澳國維府大博覧會
ニ於テ其方製造織物陳列候
處此度萬國審査官ヨリ領與之
有功賞牌澳國政府ヨリ配達相
成候ニ付澳國博覧會總裁ヨ
リ別紙写之通被相達候付賞
牌授與候事
明治九年三月二日
和歌山縣令神山郡廉

大阪天王寺谷町
南行當リ西江入
御漬物司所
六萬堂精製

奈良漬

名物
新粟おこし

十軒店
菓子舗
田月堂

千と勢

滋賀郡
木本町
伊谷
選國公平

拜啓陳ハ來ル三月三日鹿鳴館ニ於テ夜會相催候間同日午後第九時ヨリ御賁臨被下度致希望候敬具

但燕尾服

明治十九年二月十六日

東京府知事渡邊洪基

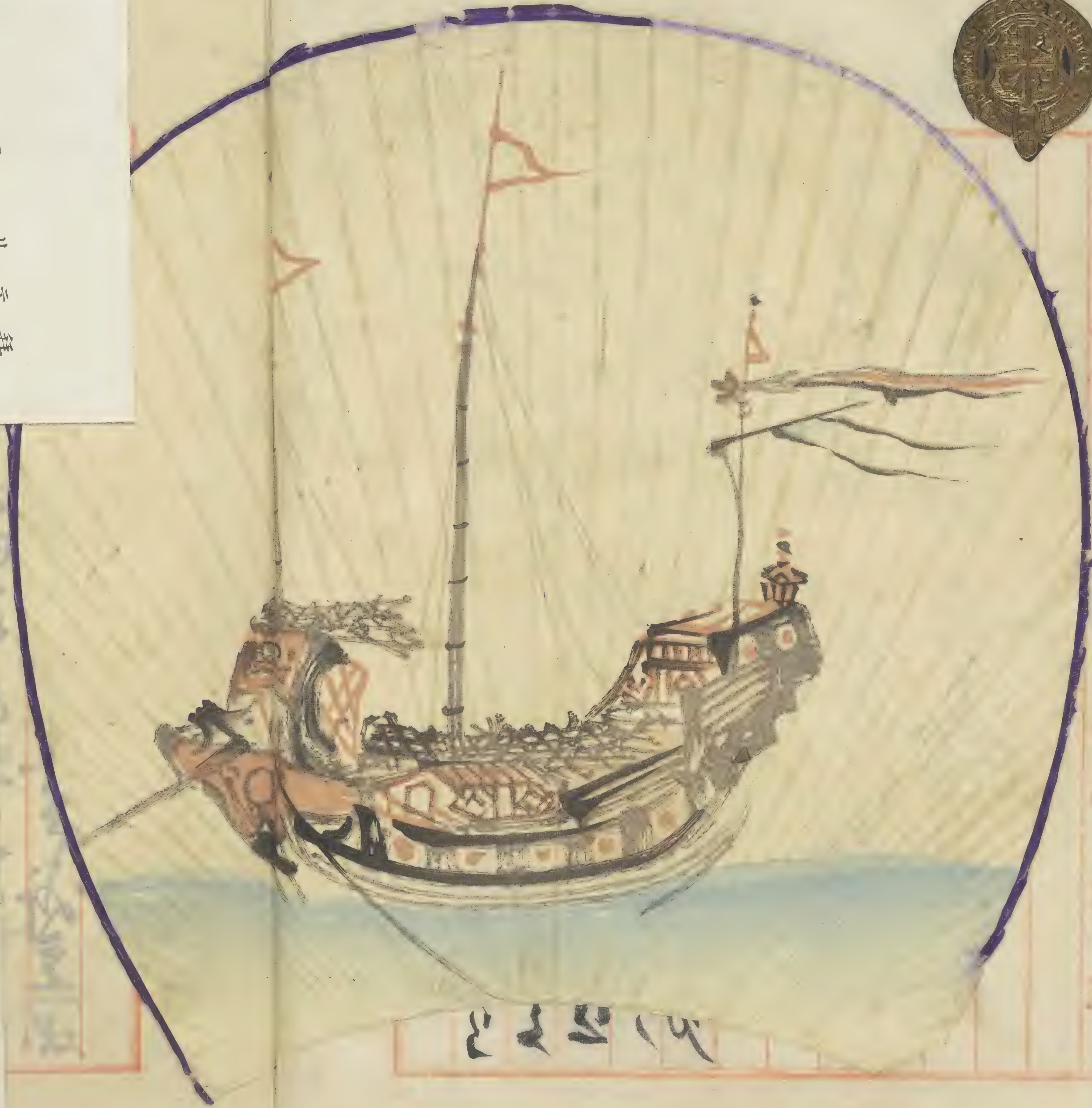
同 貞子

議官田中芳男殿

同 令夫人殿

追テ御來館ノ節此案内狀接伴員ヘ御示シヲ乞

議官田中芳男殿



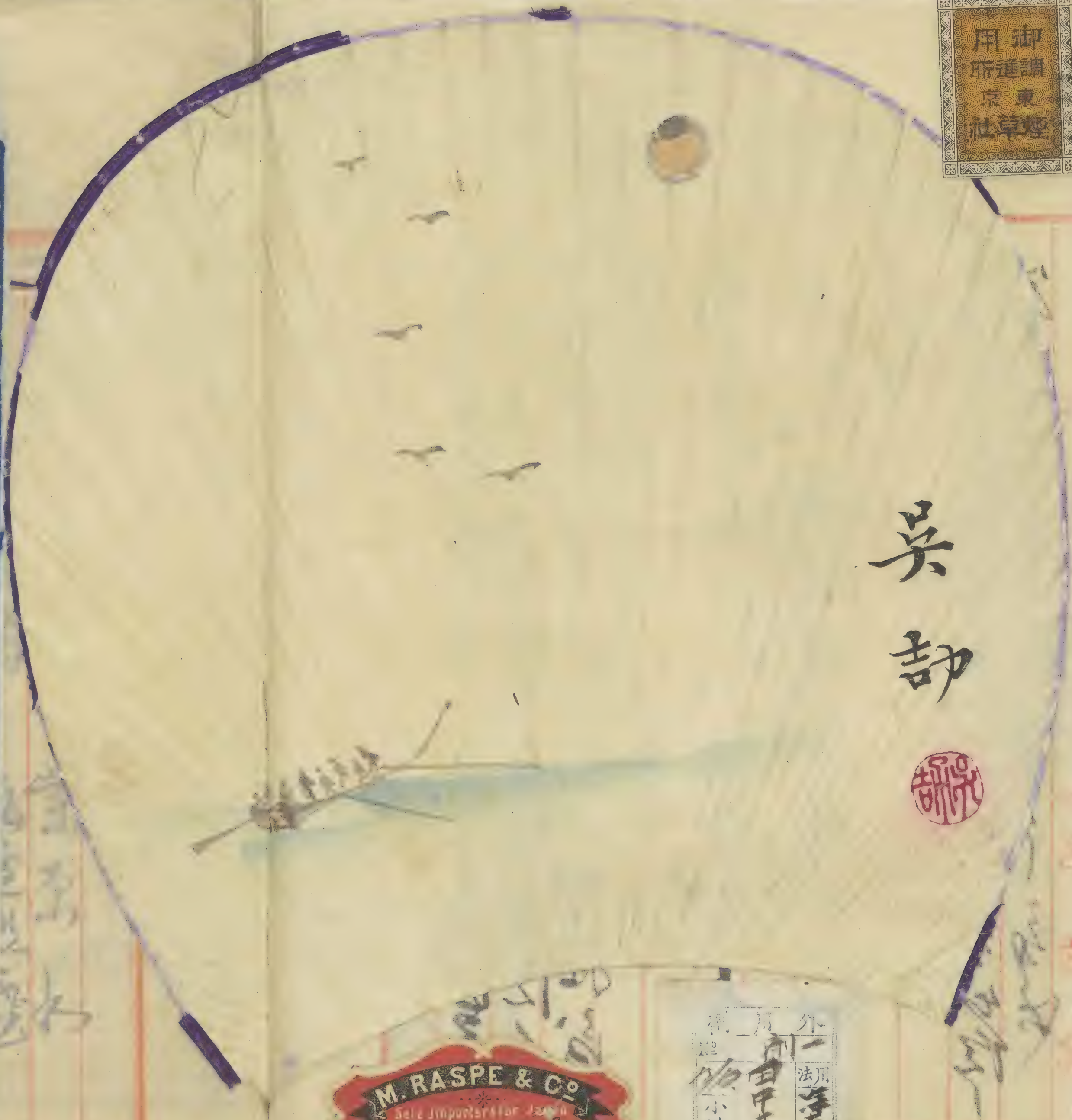
本場

東京名産佳品精選

上野東黒門町

浅草海苔

加賀屋伊次郎



御用
調進所
東京
煙草社

M. RASPE & Co.
Sole Importer for Japan
横濱百九十九番
ヱムラスペ商會

外用 一剤
用法 塗布
小林薬局

水產共進會出品一覽表

官署名＼區類	一區	二區	三區	參考品	通計	人員
文部省				一〇八	一〇八	
大藏省記錄局				一	一	
農商務省報告課				六	六	
同　農務局				一	一	
同　商務局				一〇	一〇	
同　水產局				二〇〇	二〇〇	
北海道廳本廳	三九	一一	一一	七	六八	四四
仝函館支廳	八六	一八	七	四	一一五	九三
仝根室支廳	四一	六	二	四	五三	二六
東京府	二五三	三〇	一一六	五二	四五一	一二五
京都府	一五		一		一六	六
大坂府	五七	二	四	一	六四	三四
神奈川縣	五七	四	六	二	六九	二二
兵庫縣	二九			一	三〇	一六
長崎縣	九八	三	一〇	一六	一二七	五六
新潟縣	六二		三		六五	四二
埼玉縣	一				一	一
千葉縣	二四	一〇	四	九	四七	一七
茨城縣	九〇	七	七	一	一〇五	五五
栃木縣	二				二	二
三重縣	四七	五	二	一六	七〇	三一
愛知縣	三七	四	四		四五	三四
靜岡縣	四二	三	二		四七	三七
滋賀縣	三				三	一
岐阜縣	一				一	一
長野縣	一三	一		一	一五	一五
福島縣	九	一			一〇	一〇
宮城縣	二六二	四四	二三	一	三三〇	一四五
岩手縣	七三	一七	六	一	九七	五五
青森縣	二四		五	一	三〇	一一
秋田縣	五一	三	四	一	五九	四二
山形縣	四				四	四
石川縣	三一八	一九	一六	四	三五七	二一七
富山縣	五一	二	二		五五	三六
福井縣	四		一		五	三
島根縣	一一三	三	三	三	一二二	七一
鳥取縣	一七		二		一九	一三
岡山縣	六八	二	一	一	七二	四七
廣島縣	四六	一		一	四八	三〇
山口縣	八五		七	二	九四	六四
和歌山縣	三九		九	四	五二	二三
德島縣	八				八	八
高知縣	六七		一六		八三	四三
愛媛縣	一六〇		一	二	一六三	八〇
福岡縣	四二			三	四五	三三
大分縣	四六	三	四	二	五五	二五
佐賀縣	三六	二	一	二	四一	三五
熊本縣	七				七	六
宮崎縣	九〇			一	九一	五七
鹿兒島縣	一七		三		二〇	七
沖繩縣						
大日本水產會				五〇〇	五〇〇	
合計	二、六三四	二〇一	二八三	九六九	四、〇八七	一、七二三

追加

官署名	一區	二區	三區	參考品	通計	人員
博物館				一〇	一〇	

明治十九年三月廿五日　水產共進會事務所

明治十九年三月東京乳牛共進會褒賞授與人名一覽表

一等賞　金貳拾圓　一名

デホン種牝牛	麴町區飯田町三丁目	前田喜代松

二等賞　金拾圓　二名

短角種牝牛	麴町區五番町	坂川壽吉
洋種牝牛	京橋區新富町二丁目	前田源太郎

三等賞　金五圓　五名

短角種牝牛	麴町區富士見町四丁目	猪股要助
洋種牝牛	牛込區新小川町三丁目	安田勳
仝	芝區新堀町	小川松助
仝	下谷區二長町	和田該輔
仝	神田區臺所町	山本則明

四等賞　金三圓　二十一名

洋種牝牛	神田區東松下町	崎玉正知
仝	京區橋木挽町二丁目	山崎平助
ホールスチン種牝牛	牛込區市谷加賀町二丁目	新山唯楠
洋種牝牛	麴町區壹丁目	守川幸吉
短角種牝牛	仝富士見町四丁目	猪股要助
洋種牝牛	麻布區我善坊町	古賀重治
仝	淺草區向柳原町	宮崎久
仝	淺草區小島町	小川相直
仝	京橋區入舟町八丁目	新原敏三
短角種牝牛	麹町五番町	坂川壽吉
ゼルシメ種牝牛	仝　三番町	平田貞次郎
洋種牝牛	芝區琴平町	中村德藏
仝	麴町區麴町壹丁目	守川幸吉
仝	京橋區新富町二丁目	前田源太郎
仝	京橋區新榮町二丁目	田中中七郎
短角種牝牛	麻布區麻布網代町	池田安五郎
仝	麴町區飯田町五丁目	松尾徙治郎
印度無角種牝牛	京橋區越前堀壹丁目	黒川吉五郎
短角種牝牛	神田區三崎町一丁目	守屋繁治郎
洋種牝牛	麻布區麻布笄町	杉田榮
仝	下谷區北稻荷町	石川相應

五等賞　金壹圓五拾錢　四十一名

洋種牝牛	牛込區市谷加賀町二丁目	新山唯楠
仝	赤坂區赤坂田町五丁目	神子治郎
仝	南葛飾郡寺島村	平松德盛
仝	芝區烏森町	中澤惣次郎
短角種牝牛	牛込區牛込若松町	墨尾勝春
洋種短角一回雜種牝牛	芝區新堀町	小川松助
洋種牝牛	麻布區北新門前町	榊原和歌
仝	京橋區新榮町五丁目	厚見安五郎
短角種牝牛	牛込區新小川町三丁目	梅原要助
洋種牝牛	下谷區仲徒士町二丁目	辻村幸造
仝	荏原郡品川宿	中村龜吉
純粋アヰシヤ種牝牛	京橋入舟町八町目	新原敏三
洋種牝牛	芝區烏森町	中澤惣次郎
仝	日本橋區久松町	竹芝榮八
無角種牝牛	下谷區仲徒町一丁目	辻村幸造
洋種牝牛	麴町區永田町二丁目	鈴木辰造
短角種牝牛	本鄕區弓町壹丁目	山村源七
洋種牝牛	北豊島郡地方今戸町	島多郎
仝	日枚橋區蛎売町二丁目	今村三郎
仝	四ッ谷區東信濃町	世良田市藏
仝	下谷區北稻荷町	石川相應
短角種牝牛	荏原郡上目黒村	山内勇藏
洋種牝牛	麻布區麻布笄町	杉田榮
仝	芝區三田綱町	久保之昌
仝	深川區富岡門前山本町	川村喜助
無角種牝牛	下谷區仲徒町四丁目	野口義孝
洋種牝牛	下谷區南稻荷町	村瀬六太郎
仝	荏原郡上目黒村	山内勇藏
仝	赤坂區田町五丁目	神子治郎
和洋四回雜種牝牛	麻布區麻布網代町	池田安五郎
洋種牝牛	芝區新錢坐町	前田留吉
洋種短角一回雜種牝牛仝		仝
洋種牝牛	京橋區越前堀一丁目	鈴木平太郎
仝	神田區臺所町	山本則明
仝	麻布區麻布日ヶ窪町	西山龜三郎
仝	麴町區永田町二丁目	鈴木辰造
仝	京橋區新榮町五丁目	厚見安五郎
仝	芝區琴平町	中村德藏
仝	麻布區麻布北新門前町	榊原和歌
仝	芝區松本町	菅生由政
和洋二回雜種牝牛	日本橋區久松町	竹芝榮八

功勞賞　金拾圓

芝區新錢座町	前田留吉

夙ニ牛乳搾取ノ業ヲ興シ克ク艱苦ニ耐ヘ大ニ該業ノ擴張ヲ圖ル其功業尠カラス依テ其賞トシテ金拾圓ヲ付與ス

鑑定狀

一等鑑定狀	芝區新錢座町	前田留吉
体格善良ニシテ最モ嘉賞スヘキ乳用種牛ト鑑定ス		
二等鑑定狀	麴町區富士見町四丁目	猪股要助
体格良好ニシテ善ク乳用種牛ニ適スルモノト鑑定ス		
三等鑑定狀	京橋區新榮町四丁目	竹澤彌太郎
体格能乳用種牛ニ適スルモノト鑑定ス		
四等鑑定狀	淺草區向柳原町一丁目	宮部久
同文		
五等鑑定狀	京橋區入舟町八丁目	新原敏三
同文		
六等鑑定狀	京橋區築地二丁目	早川金次郎
同文		

東京乳牛共進會

官許

諸病

妙功湯

東京本郷区湯島切通町三番地 安藤七之輔

價二錢

主治

第一四季ノ引風ニテ頭痛ノ疫症
眩暈ニ脾ミ又大小便ヒキ通セザル二用
アル其外神妙ナリ
其他積痞留飲胸腹ノ痛ミ疝氣ニ用ヒ
等ノ症ニ用ヒテ又功アリ

用法

熱湯ニテ煎ジ
[illegible]

東京湯島切通シ

藥調劑所 伊勢屋 安藤七之助

大日本内務省免許

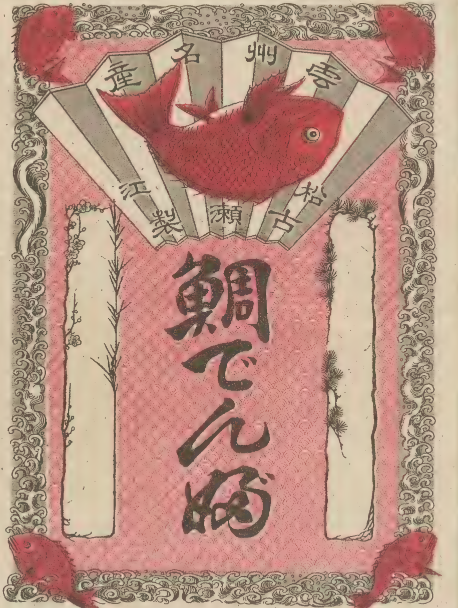
神方萬金丹

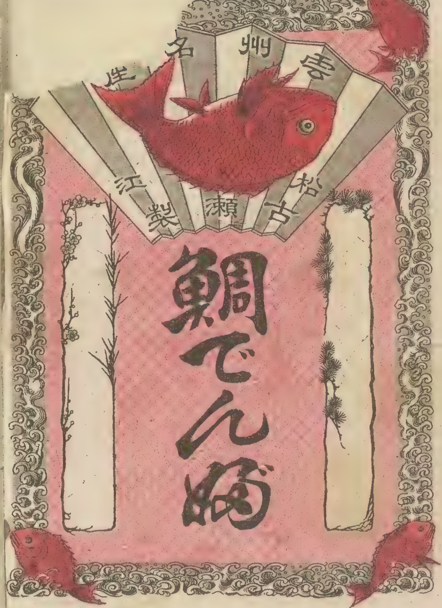
此の丸藥は腹痛吐瀉或は旅行等之節懐中して蒸氣船車の醉をさくるに最も可なり

發賣本舖

廣大堂製

主治功能	頭痛 過酒 氣鬱 眩暈 嘔吐 口中不淨 胸痛 泄瀉 霍亂 停飲 蒸氣船車に 食傷 水害 ひるみよし
用法	一度に三四粒より七八粒とす劇症は十粒より二十粒とす咬み碎き白湯にて服すべし
製造本舖	東京神田區佐久間町二丁目拾番地 大廣堂 尾崎孝三郎謹製





千年泉苔（ちとせのり）

壹包 定價金七錢

千歳泉苔ハ筑ノ前州下座ノ郡彌永ノ村ニ黄金川ト稱スル川アリ至テ細流ナレトモ四時涸ルヽヿナシ此川ニ一種無類ノ苔ヲ生スコレヲ川茸ト曰フ此川茸ヲ以テ製スルモノニシテ亦鎮西ノ一珍味ナリ古來紫金苔或ハ壽泉苔ノ名ヲ命シ己ニ舊藩ノ時ニ在テハ年々例トシテ幕府ニ獻セリ故ニ貴人富家ノ賞品トナルヿ既ニ久シ九州地方ノ如キハ殆ント家トシテ貯ヘサルモノナキニ至ル然ルニ舊來ノ製法ハ頗ル手數ヲ要スルヲ以テ隨テ其價モ貴シ是ニ於テ僕年來製造ノ便ヲ得ンヿヲ欲シ苦心焦慮幾多ノ星霜ヲ經明治十六年ノ秋ニ至リテ始テ此法ヲ自得セリ因テ新ニ名ヲ千歳泉苔ト命シ廣ク販賣ス之レヲ舊製ニ比スレハ價甚廉ニシテ風味益佳良殊ニ使用ノ法尤簡便ナルヲ以テ常ニ貯ヘ或ハ珍客ノ突來ニ備ヘ或ハ名ニ因テ祝宴ノ席ニ供ヘテ妙ナリ加之品質清淨香味風雅ナルヲ以テ高人逸士ノ幽賞トナリ貴人大家肉食ノ后飲客宿醒ノ朝ニ用ヒ皆佳ナリ又白糖ヲ以調理スレハ尤モ茶ニ適ス其品此ノ如ク清淨其味此ノ如ク風雅其製此ノ如ク精良其用此ノ如ク廣シ是ヲ以テ是ノ泉苔一度出テ京阪以西其行ルヽヤ響ノ聲ニ應スルカ如ク貴トナク賤トナク富トナク貧トナク酒客ナリ茶人ナリ賞甘セサルナシ是ニ於テ乎今又廣ク全國ハ無論海外ニ迄及サンヿ欲シ左ノ通リ取次所ヲ設ケ益相働キ調進仕候間四方ノ鳳君多少ニ不限御用被仰付ンコレ禱ル

製造人 筑前國下座郡
藤井辰太郎 謹白

明治十七年一月

賣捌所 東京銀座三丁目
岩谷松平

開場式順序

三月廿五日午前九時三十分幹事長審査長幹事井ニ來會ノ貴紳本會事務員審査員府縣委員出品人等式場ニ參着

午前九時五十分會頭殿下幹事長ノ先導ニテ着席先着ノ諸員一同立禮

幹事長開會ノ旨ヲ述ベ列品目錄ヲ呈ス

會頭殿下式文ヲ朗讀セラル

出品人總代答詞ヲ述フ

右終テ一同立禮退散

會頭殿下

大日本農會頭殿下

内大臣
元老院議長
警視總監
在京勅任官

名譽會員
幹事長
審査長
幹　長
議員
學藝委員
事務員
審査員
新聞社員

▲幹事
演席

▲出品人總代
祝詞席

出品人販賣引受人

内閣總理大臣
各省大　臣
各省次　官
在京勅任官

憲兵長
農商務奏任官
出品有之官廳奏任官
在京府縣奏任官

下谷區長
憲兵第四管區長
出品有之官廳主任官
府縣委員

鸚鵡盃

鸚鵡螺(あふむがい)は殻を倒にすれば其形鸚鵡に似たれば故に此名
あり然れども古の奇(めづ)らかなることは其内(うち)部の事はなしきと
我以て酒盃に作りて用ゐることは我鸚鵡杯(あふむのつき)といひて高門貴
族の宴會に用ゐしことは古今著聞集まで夫木和歌集等に
見えたり又釣花瓶に作り世にもてはやされしことも後世の書
に見えたり麻刺加(マラツカ)及び爪哇(ジャワ)の人は此殻を木炭末にて磨き
蠟に油をまじへたる顔料にて様々に画きて酒盃となして用ゐ
ることいへり此螺は章魚(たこ)の類にして印度海に多く又我が沖
縄地方の海にもあり常には海底に栖みて浪風の静かなる日
には海面に群れ遊ぶものなれど生きたるを獲ることは
罕にしておほくは海濱に浪の打揚げたる殻を拾ひ得るの
み世の人此の酒盃を愛で貴めども其介を得ること難し
故に今その真物を本として石膏型にて酒盃に陶造せしもの

鮑殻の饌器

鮑殻を「さやなべ」と称へ鍋に代用せしことは松平樂翁の遺
書にも見え今も鍋に用ゐ或は種々の食器に代へて珍膳に
供する處少からず又よく磨きて杯洗等に用ゐることもあり
爰に用ゐるものは客年上總の國小濱の沖にて新に發見し
たる鮑礁より採り得たるものにて此處の鮑は古来海蜑(あま)の
到り得ぬ深みに棲み其數限りもなくおほくその形からいと
大きなり故に之を捕りて利益を得ること少からず一時
は世に喧しかりし然(さ)れども其は中々に永く存すべき理あり
依て今度その殻を求めいでて後の参考とせんが為めに斯
く饌器に用ゐることとなせり

明治十九年四月十八日

大日本水産會
水産共進會

菜單

蝦仁源寶糕
參魚鴛鴦糕
魚翅珠
炸蠣黃
結繩海菜
燻魚
鮑魚捲
天青帶絲
以上

四月十八日

水産共進會

信樂園調菜

廣告

愛知縣尾張國師崎村二百七拾五番邸
出品主 愛洲舍 神谷定助

精選改良 海鼠腸

樽詰改正本升三合入
定價 金四十貳錢

夫レ海鼠腸ハ冬期海中ニ在ル海鼠ヲ網シテ其腸ヲ出タシ精選シテ鹽ヲ和シ製スル者也抑該品ハ往昔ヨリ當地ノ特産ニシテ其名四方ニ普ク幕府之頃尾藩ヨリ公家諸鄉ヘ献上ノ事アリテ地頭千賀氏其製ヲ司リ濫リニ民間ニ於テ製出スルヲ禁セシカ維新以來縣下各地方ニ製出シ互ニ奮勵スルモ如何セン啻ニ廉價ヲ競ヒ品質麁造ニ流レ世人ヲシテ又海鼠腸ノ眞味ヲ知ラサラシムルニ至レリ實ニ遺憾ノ至リナリ輓近吾政府大ニ水産ノ事業ヲ奬勵セラル丶ノ秋ニ際シ吾曹大ニ見ル所アリ一層奮發更ニ從來ノ經驗ニ憑リ製法ヲ改良シ品質ヲ精選製出シテ廣ク地方ニ發賣セントス希クハ四方愛玩ノ諸君用ヒテ以テ其秀味ヲ試ミラレンヿヲ

明治十九年一月十七日

水産書類發兌書目

上野公園地水産共進會場內出店 文會舍

○水族志	一冊	正價	金八十錢
○鰯圖解一覽	一峡	仝	金九錢
○水族寫眞 黑摺	二冊	仝	金五十錢
着色		仝	金九十錢
○能毒魚かゝみ	二冊	仝	金二十八錢
○潜龍堂畫譜 魚類の部	一冊	仝	金十八錢
○寫眞魚鏡	一冊	仝	金八錢
○日本食志	一冊	仝	金壹圓廿五錢
○漁産一班	一冊	仝	金九十五錢
○海産論	一冊	仝	金四十五錢
○山海名産圖會	五冊	仝	金六十錢
○漁村維持法		仝	金二十四錢
○動物學 全編着色	二冊	仝	金貳圓
○動物訓蒙	一冊	仝	金四十五錢
○動物畫圖	廿五枚	仝	金三十三錢
○有用動物見本	壹箱四層	仝	金三圓
○隨觀寫眞	六冊	仝	金拾圓
○海川魚譜	一冊	仝	金六十五錢
○貝盡浦の錦	二冊	仝	金四十五錢
○閩書南産志	二冊	仝	金三十八錢
○鹿兒海魚譜	二冊	仝	金七十八錢
○鯨志	一冊	仝	金三十五錢
○日本魚譜	四冊	仝	金壹圓廿八錢
○七島日記	一冊	仝	金三十八錢
○水産彙考	一冊	仝	金十六錢
○費氏鹽錄	三冊	仝	金壹圓二十錢
○日本山海名物圖會	五冊	仝	金六十五錢

愛知縣尾張國師崎村二百七拾五番邸
出品主 愛洲舍 神谷定助

廣告

精選改良 海鼠腸

樽詰 改正本升三合入
定價 金四十貳錢

夫レ海鼠腸ハ冬期海中ニ在ル海鼠ヲ網シテ其腸ヲ出タシ精選シテ壜ヲ和シ製スル者也抑該品ハ往昔ヨリ當地ノ特産ニシテ其名四方ニ普ク幕府之頃尾藩ヨリ公家諸郷ヘ獻上ノ事アリテ地頭千賀氏其製ヲ司リ濫リニ民間ニ於テ製出スルヲ禁セシカ維新以來縣下各地方ニ製出シ互ニ奮勵スルモ如何セン啻ニ廉價ヲ競ヒ品質麁造ニ流レ世人ヲシテ又海鼠腸ノ眞味ヲ知ラサラシムルニ至レリ實ニ遺憾ノ至リナリ輓近吾政府大ニ水産ノ事業ヲ奬勵セラル、ノ秋ニ際シ吾曹大ニ見ル所アリ一層奮發更ニ從來ノ經驗ニ憑リ製法ヲ改良シ品質ヲ精選製出シテ廣ク地方ニ發賣セントス希クハ四方愛玩ノ諸君用ヒテ以テ其秀味ヲ試ミラレンコヲ

明治十九年一月十七日

天 鯱 燻 結 炸
青 魚 魚 纙 鱺
帶 捲 海 蠒
絲 菜
以上

四月十八日
水産共進會

偕樂園調菜

改正
珠算問題
明治十四年

○獨乙農事圖會 魚類	一枚	正價	金十七錢
○百科全書漁獵篇	一册	仝	金三十五錢
○百科全書釣魚篇	一册	仝	金二十錢
○日本國産海藻一覽	一枚	仝	金八厘
○魚の圖	一册	仝	金三十五錢
○六物新志	二册	仝	金三十錢
○物類品隲	六册	仝	金九十錢
○物品識名	四册	仝	金六十錢
○桃洞遺筆	三册	仝	金三十八錢
○秘傳花鏡	六册	仝	金八十五錢
○河蝦考	一册	仝	金二十五錢
○齊民要術	五册	仝	金九十錢
○廣東新語	廿八册	仝	金二圓廿錢
○南越筆記	四册	仝	金八十五錢
○和漢三才圖會	合本十七册	仝	金七圓廿五錢
○格致鏡原	廿二册	仝	金六圓
○欽定授時通考	廿四册	仝	金八圓廿五錢

其他水産よ關する一切の書籍圖畫

東京々橋區南鍋町一丁目五番地
本店 文會舍 西洋平

の來觀を許す
明治十九年五月

大日本農會

明治十九年四月十八日
水產共進會褒賞授與式順序

一當日午前八時本會幹事長審查長仝副長幹事其他諸員府縣委員出品人等參場
一同九時三十分會頭殿下及ヒ來會ノ貴紳等參場
一同九時五十分參列諸員式場へ着席
一同十時會頭殿下ハ幹事長ノ先導ニテ式場へ着席
諸員一同敬禮
此ノ間奏樂
一審查長ハ會頭殿下ノ前ニ進ミ審查結了ノ旨ヲ述フ
一會頭殿下ハ褒賞ヲ授與スル旨ヲ演述ス
終テ奏樂
一會頭殿下幹事長審查長ハ褒賞授與ノ席ニ着ク
一事務委員ハ授賞人ヲ順次呼出シ會頭殿下ノ前ニ進マシム
一會頭殿下ハ其ノ等級ノ順序ニ從ヒ褒賞ヲ授與ス

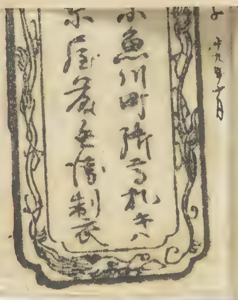
一等賞	金牌	一個
二等賞	銀牌	仝
三等賞	銅牌	仝
四等賞	仝	仝
五等賞	仝	仝
六等賞	褒狀	
功勞賞		
追賞		

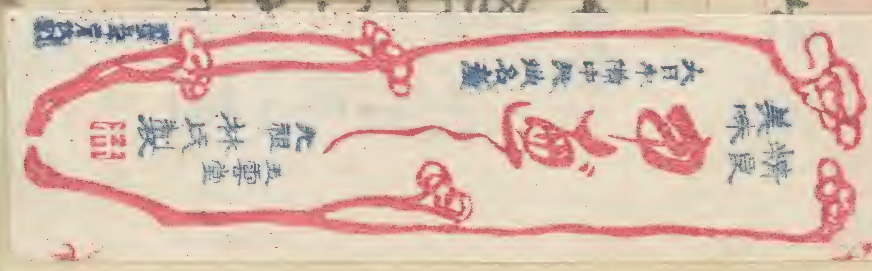
右各等級ノ間毎ニ奏樂
一出品人總代ハ答辭ヲ述フ
右終テ奏樂
一會頭殿下ハ幹事長ノ先導ニテ式場ヲ退ク次テ來會ノ諸員退場
一式終テ參列諸員へ酒饌ヲ供ス
一當日參會ノ諸員ハフロックコート着用

（明治十九年四月廿三日）
午後一時ヨリ京橋區木挽町
月次小集會相開候間御繰

大日本水產會

必要　田中芳男君
ル　柳楢悅君
太田實君
豫定　播磨屋久治君
スルノ説
水產共進會ノ必要ヲ論ズ　伊藤聰君
火漁有害説　井上善助君
薫魚ノ説　町田實則君
演題未定　山本由方君
仝　水野正連君





○會頭殿下

勅任以上

奏任以上

○授賞席

△審査長

△

△

△幹事長

證狀臺

賞品臺

△受賞席

△出品人總代答辭席

名譽會員

幹事

事務委員

審査委員

議員

學藝委員

通信委員

地方世話掛

奏任以上

各會幹事

出品有之官廳主任官

府縣委員

新聞社員

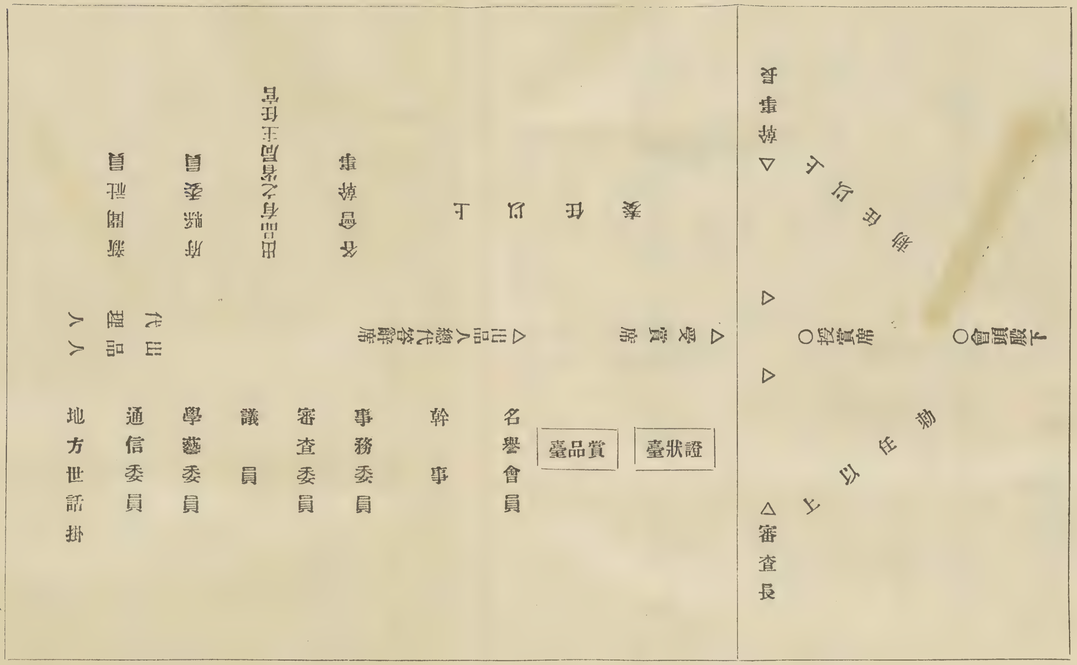
出品代理人

樂隊

の來觀を許す

明治十九年五月

大日本農會



（明治十九年四月廿三日）

午後一時ヨリ京橋區木挽町

テ月次小集會相開候間御緣

大日本水產會

必要　田中芳男君

フル　柳楢悦君

太田實君

水產共進會ノ目的方法ヲ豫定スルノ說　播磨屋久治君

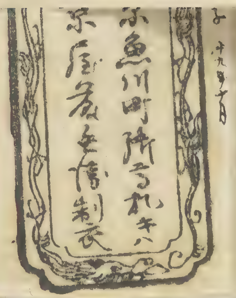
水產共進會ノ必要ヲ論ズ　伊藤聰君

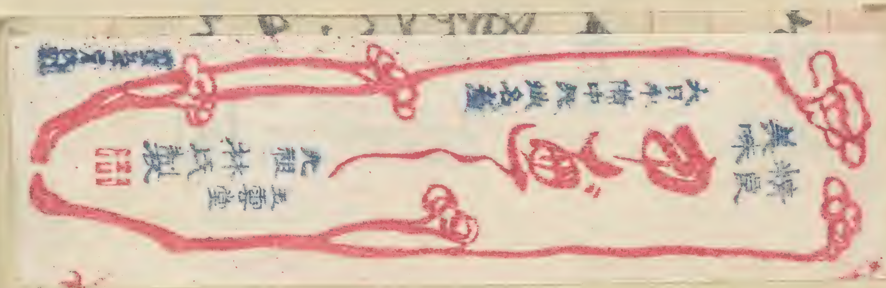
火漁有害說　井上善助君

薰魚ノ說　町田實則君

演題未定　山本由方君

仝　水野正連君





明治十九年四月十八日

水產共進會褒賞授與式順序

一當日午前八時本會幹事長審査長仝副長幹事其他諸員府縣委員出品人等參場

一同九時三十分會頭殿下及ヒ來會ノ貴紳等參場

一同九時五十分參列諸員式場へ着席

一同十時會頭殿下ハ幹事長ノ先導ニテ式場へ着席

諸員一同敬禮

此ノ間奏樂

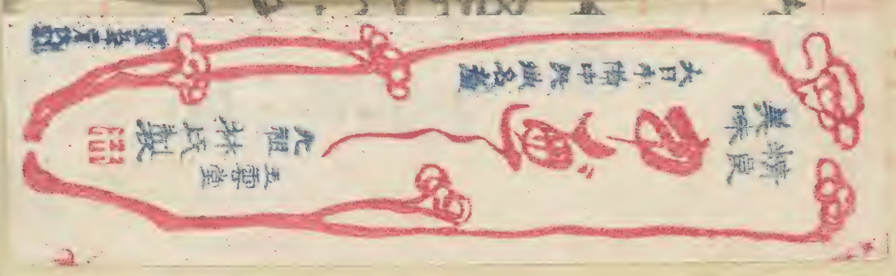
一審査長ハ會頭殿下ノ前ニ進ミ審査結了ノ旨ヲ述フ

一會頭殿下ハ褒賞ヲ授與スル旨ヲ演述ス

終テ奏樂

一會頭殿下幹事長審査長ハ褒賞授與ノ席ニ着ク

一事務委員ハ授賞人ヲ順次呼出シ會頭殿下ノ前ニ



水產講話會例規

第一　目的

講話會ハ水產製造ノ改良販路ノ擴進其他重要ノ事項ニ關スル利害得失ヲ講話シテ實業上前途ノ方針ヲ指定シ以テ共進會ノ効用ヲ補全センガ為メ開設スルモノトス

第二　期日

講話會ハ四月十九日已後五日間午後一時ヨリ開設スベシ

第三　科題

講話ノ科題ハ概ネ左ノ各項ニ準ス

一水產講話會ノ趣旨

一水產物貿易ノ説

一清國產水產物ノ辨

九月

田中芳男　岩島　山本由方

…號附錄（明治十九年四月廿三日）

告

…土曜日）午後一時ヨリ京橋區木挽町…生館ニ於テ月次小集會相開候間御緑…候也

大日本水產會

…題

…設クルノ必要　田中芳男君

…本中ニ加フル　柳楢悦君

…意見　太田實君

水產共進會ノ目的方法ヲ豫定　播磨屋久治君

スルノ説

水產共進會ノ必要ヲ論ズ　伊藤聰君

火漁有害說　井上善助君

薰魚ノ說　町田實則君

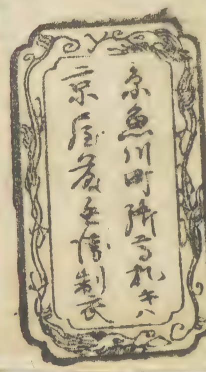
演題未定　山本由方君

仝　水野正連君

の來觀を許す。

明治十九年五月

大日本農會



一清國輸出水產物ノ辨
一鰑ノ辨
一乾鮑幷海參ノ辨
一昆布ノ辨
一水產物乾燥及貯藏法ノ說
一水產物荷造幷ニ運搬意見
一水產物淸國貿易ノ景況
一水產物ノ歐洲貿易ニ適スベキ說
一魚油蠟及搾粕ノ說
一日本支那水產比較論

右ノ外必要ノ事項ニ就テ講話ヲナスヿアルベシ

中橋和之

第四 講師

講師ハ內外學士若クハ實歷家ヲ招聘シテ之レニ充テ前項科題ニ隨ヒ其講說ヲ委囑スベシ

第五 參會員

講話會ニ參同スベキ人員ハ左ノ資格ヲ有スル者ニ限ルベシ

一共進會出品人　一共進會府縣委員
一大日本水產會々員　一參會ノ特許ヲ得タル者

第六 集談

每日豫定ノ講話了ルノ後其科題ニ對スル疑義ヲ質問シ若クハ所見ヲ開陳セシムル爲メ更ニ集談席ヲ開クベシ
但集談席ニ於テハ各自隨意ニ發言スルヲ得ルト雖モ討論駁議ニ涉ルヲ許サス

第七 報告

廣告

來十六日午前八時より午後五時迄
芝區三田本會三田育種場內に於て

○第十五回農產品評會

右は家畜家禽其他諸種の農產を蒐集品評し列品は公衆の來觀を許す

明治十九年五月　大日本農會

講話及集談ニ關スル樞要ノ事項ハ筆記刊行シテ報告スルコトアルベシ

第八　會場

講話會ノ會場ハ上野公園內ニ設クベシ

第九　主事

講話會ニ屬スル各般ノ事務ハ主事一員若クハ二員ヲ撰定シテ處理セシムヘシ

第十　細則

講話會々場整理ニ關スル細則ハ追テ之ヲ規定シ會場內ニ揭示スベシ

明治十九年四月　大日本水產會　水產共進會事務所

四

大日本水產會報告第四十九號附錄（明治十九年四月廿三日）

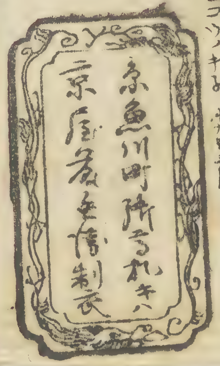
○廣告

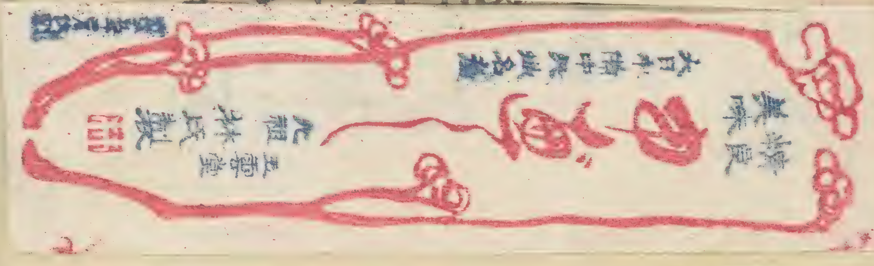
來ル五月一日（第一土曜日）午後一時ヨリ京橋區木挽町二丁目本會々堂厚生館ニ於テ月次小集會相開候間御繰合セ御來會被下度候也

明治十九年四月　大日本水產會

當日演題

水產巡回教師ヲ設クルノ必要ヲ論ズ	田中芳男君
水產物ヲ小學讀本中ニ加フルノ說	柳楢悅君
水產學校設立ノ意見	太田實君
水產共進會ノ目的方法ヲ豫定スルノ說	播磨屋久治君
水產共進會ノ必要ヲ論ズ	伊藤聰君
火漁有害說	井上善助君
薰魚ノ說	町田實則君
演題未定	山本由方君
仝	水野正連君





廣告

弊店累代廢紙商專務トシ阪府並ニ諸縣ヘ販賣致來各君ノ大庇ヲ以テ依然營業ヲ辱ス然ニ既往取扱上或ハ疎漏ニ渉シ廉モ間々有之右ハ畢竟都鄙遠隔ノ地自ラ事情ニ踈カ故也現今開明ノ際廣ク四方ト交通セントス何ゾ賤劣ノ俗習有ンヤ這回一層勉励更ニ品位ヲ改正シ毫モ不念ナキニ精々注意ヲ加フ將来左ノ印章ヲ目シ倍々盛大ニ購求シ賜ハンコトヲ希望ス

明治十三年一月

森本改

高知縣土佐國須崎糺町十二番地

廢紙仕入商

西内森藏

東洋繪畫共進會襃賞授與式順序

一四月十八日襃賞授與式參會ノ諸員ハフロックコート着用但シ羽織袴代用不苦

一午前八時副總裁以下掛員一同參着

一午後一時十五分副總裁以下掛員幷優待人出品人式場ニ先着ス

一午後一時三十分總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ニ着席先着ノ諸員一同敬禮ス此時奏樂

一審査長ハ總裁殿下ノ前ニ進ミテ審査決了ノ旨ヲ演ブ

一總裁殿下ハ襃賞ヲ授與スル旨ヲ演述ス右了テ五分時間奏樂

一總裁幹事長審査長ハ襃賞授與ノ席ニ就ク

一公務部長ハ受賞人ヲ順次ニ呼出シ總裁ノ面前ニ進マシム

一幹事長ハ襃賞等級品名姓名(何等賞品名一個何府縣何誰)ヲ讀上グ

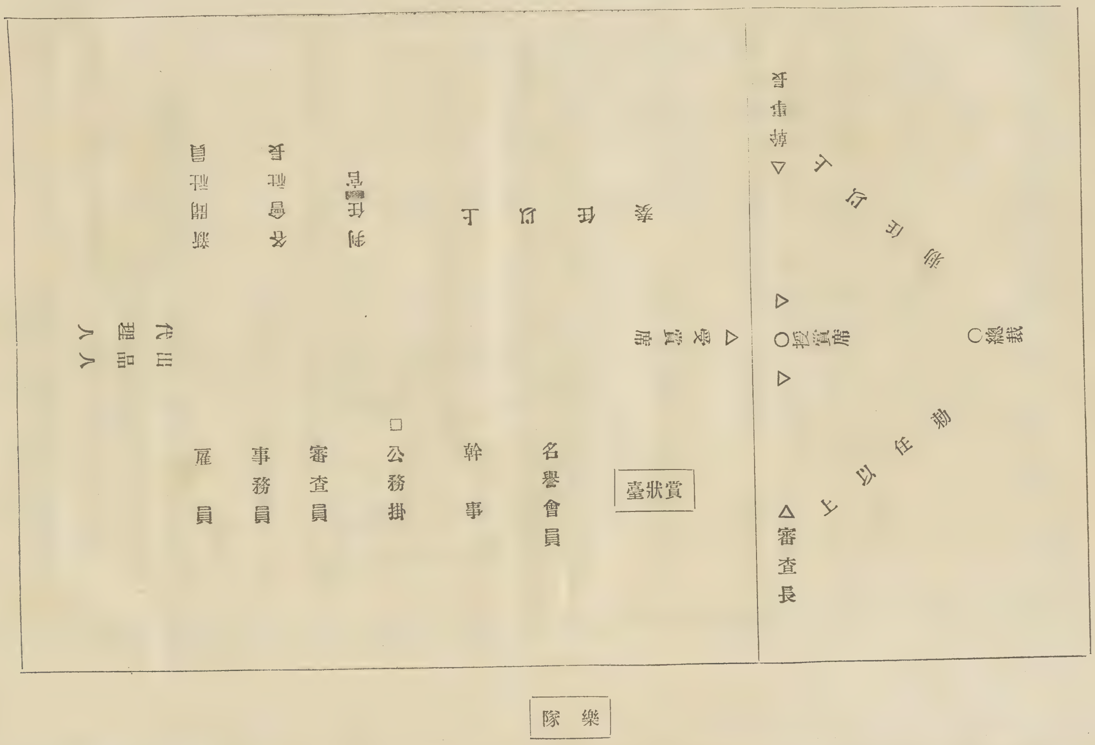
一總裁殿下ハ襃賞ヲ授與ス但シ一等賞以下一等襃狀マテハ各自ニ授與シ二等三等襃狀ハ府縣毎ニ一括ニシテ之ヲ總代人ニ授與ス

一襃賞等級ノ替ル毎ニ五分時間奏樂

一右了テ出品人總代答詞ヲ述ブ

一總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ヲ退ク此時奏樂

一次テ參列ノ諸員式場ヲ退キ設ノ席ニ休憩



大日本山林會報告第五拾壹號附錄明治十九年五月十日刊行

廣告

今川肅編輯

日本山林副産物製造篇 全壹冊

定價金四拾錢 郵稅金貳錢

目錄

（樹實の部）榧實油、粗榧子油、罌子桐油、山茶子油、茶梅油、ムラダチ油、木通油、天竺桂油、タブ油、栲實油、胡桃油、搗栗、乾栗、天師栗、木蠟、
（樹皮の部）擣油、柯油、鷄梧桐皮、樺皮、山葡萄皮、松繩、扁柏繩、藤皮、木槿苧、桑皮綿、シナノキ皮、簺子、柳皮紙、雁皮及黃瑞香、棠梨皮、松皮粉、松皮紙、木防已、杞柳骨、
（樹液の部）樟腦、松脂、水蠟膏、木酒精、松油、松脂蠟
（樹葉の部）松綿、線香、松葉紙、
（竹の部）眞篶、簦、竹繩
（雜草の部）青茅、蔗繩、葛苧、葛布、葛粉、カタクリ、蕨粉、百合粉、蘇鐵粉、薯蕷粉、茅根、天花粉、山藍、
（菌蕈の部）椎茸、滑蕈、木耳、茅蕈、黑革蕈、香蕈、獅子蕈、石茸、剣蕈、鼠蕈、鷄樅、錦茸、天花蕈、茯苓、松露、
（動物の部）五棓子、贅蟲子、鹿皮、羚羊皮、黃鼬皮、猿皮、狸皮、狐皮、熊皮、獸膽、蜂蜜、天蠶、柞蠶、

右ハ全篇ヲ樹實、樹皮、樹液、樹葉、竹、雜草、菌蕈、動物ノ八類ニ大別シ通計八拾八種ノ副産物製造法ヲ記述サレタルモノニシテ殊ニ傍訓圖畫ヲ加ヘ力メテ實業者ニ了解シ易カラシメ又曩ニ此書出版ノ事ヲ大日本山林會及大日本農會會友諸君ニ謀ラレタルニ三千有餘名ノ賛成豫約ヲ得ラレタル實益無比ノ良書ナリ今回先生ニ請ヒ弊社ニ於テ印刷シ極メテ廉價ヲ以テ發賣致候間實業者諸君ハ陸續購讀アランコヲ冀望ス

日本橋區兜町壹番地
製紙分社

東京京橋區木挽町貳丁目拾四番地
大日本山林會事務所

持主 宮島信吉
編輯人 松野𥳑
印刷人 種田適

支那風料理廣告

爰ニ偕樂園を設けたる趣意ハ支那の料理を公衆ニ普く示し日本の水産物を調理して其味（あしはい）を宜しくし支那へ輸出の國益ハ日ニ開らきゆく大御代の花の上野ニ集ひなす共進會の構へうち家の造りハ水産の釣の重りニ縁りある網の重りニ縁りある鉛葉葺（ふき）の家造（やづく）りハ支那ニも類ひなかるへし第一火災の恐をなく第二ハ物ヤす便利あり第三夏ハ納涼の臺（うてな）ニ代る妙用あり共進會のをみし後ハ本園内ニ移しあし尚御披露を致すへし只此店ハ御手輕の辨當御用を勤るのミ支那の料理の本式を試ミ賜はん御方ハ偏ニ本園ニ御來臨を希ふになん

附言

鉛葉てふものハ元來輸出の茶箱を密封する要品ニして今ミひ築地新湊町五丁目ニ於て製り做し幅ハ貳尺五寸餘長さハ六尺有餘ニて其厚薄ハ好顧主（このみぬし）の御望ミ次第ニ出來るなり將又是もて水産の鯗魚（ほし）熏魚（ふすべ）等を包みなハ永く其味たもつへし又海苔を貯て必す香氣を保つなり此鉛葉の必用ハ都て内箱張籠る又品物を包ミ置き十分濕（しめ）氣（り）を禦（ふせ）くありそも此鉛葉の發明ハいろ〳〵工夫こらしつゝ今度漸く成功し色澤銀光うるハしく全備の佳品を製り做し海山ともに其幸ハあふきの要め末廣くひろこり榮ふ御代そ目出たき

本店　東京日本橋區龜島町壹丁目貳拾九番地

偕樂園

唐饅頭

御菓子舗　松岡製

鯛類製造品廣告

大洋に魚類の多きも其味ひの美なるハ鯛を以て第一とす弊店曽て鯛味噌と蒲鉾を以て御愛顧を蒙り月に日に盛大に至れるハ味噌の調理ハ殊更に注意し脂を補ひ精液を増す龍眼肉を加味して最上の味琳砂糖を用ひ此他鰹蝦鯉味噌も何れも鮮魚を以て製し酒乃下物し茶漬の菜を兼備へたる滋養物なり

鯛煎餅ハ焼塩まさハ醤油を一滴加へ熱湯に投じ食すれバ即席の吸物と成て酒客の喜ぶ雅品なるを家製ハ殊更他に優を厚くて毀損の害なけれバ遠國への御贈物にも軽便にして最も重寳す

鯛鰹田麩もまた新鮮の肉を撰び非常に精製せし物なれバ数日間を経まても味ひの變る事なきゆゑ旅中船中等の御貯へにて殊更に好く酒飯ともに適したる雅味を存せり

蒲鉾の製品ハ春夏ハ鯛鱧を以てし秋の末より冬に至れバ鱚の類に鶏卵の白肉を混和し焼通したる品なれバ空氣の流通の宜き場所に置バ月日を経まても味を變ぜバ萬一艶を失ふことも再び之を蒸復せバ風味のよき事御試驗の上御高評を賜ふ平日出来合たる品ハ他の粗製とハ異れども遠方への御進物を前以て御注文下さるまでハ別製に佳良の品を以て数日の間保つを受合ふ此外に厚焼天麩羅の類ひも新鮮の種を撰び油も上等品を用ひ精製したる物なれバ御土産物等にも屈竟にて浪華の名産なり

右に載る所の品々御誂を別段に大小共御好に任せ定價ハ器に貼用し稟告を以て包紙としたれバ弐橋丸萬の目標他の製品と紛れざる様御改め御購求奉希上候也

大阪南區戎橋南詰

鯛味噌蒲鉾調進所

丸萬

たぐひなき華をもしく丸萬の製を貴す

その名乃戎よりも鯛をいはひ福と福部のあまり

柳亭種彦

新製若葉海苔報條

漣の潮凝結びて水墻に寄る海苔の味ハ實に東海の名産にて袖が浦の深きより浅草川の浅瀬に止まり絶て他方にあらず磯の波の間より生ずる佳品此本色の形を其儘冬季に製す新海苔の青きと春の陽氣に移し夏に持越そ若葉海苔ハ從來諸店に有ふれし佃煮海苔の類に異り海苔の色香と姿を崩さず玻璃の瓶に入ブリキ詰に日柄を經るとも味ひの變らず保つ煮方の發明遠路の御旅行海上の滊船中に貯ひたまひ或ハ不時の御酒席などにて未だ魚菜の参らぬ前御用ひにハ至極佳肴と手前味噌の誇香あらぬ井上一家の美味香氣を御誠しにて四季折々彼常盤樹の色換ぬ松葉海苔諸共に御用向を冀たてまつると主個に代りて

假名垣述

鉄葉諸定價						
一	金五拾錢	四十五錢	四十錢	三十五錢	三十錢	廿五錢
	貳十錢	十五錢	十錢			
摺口瓶定價						
一	金壹圓五十錢	壹圓卅錢	壹圓	八十錢	五十錢	四十錢
	三十五錢	三十錢	廿五錢	二十錢	十五錢	

右之外重詰陶器詰御好にマカセ精々調製仕候

乾海苔問屋
味附海苔本舗
發明元祖
東京日本橋通一丁目
さがみや 井上寅吉伏稟

同店
大賣捌
同日本橋通四丁目
井上吉太郎

府下御注文之義ハ郵便紙上以て被仰候ハヾ迅速御屆ケ可申上候也
但し取次店ハ餘白なければこゝに畧す

褒状

稲庭干温飩

大日本
名物
稲庭干温飩

万 製造品直段廣告

別製極上等
●焼通し蒲鉾　代　大廿銭　中拾銭　小六銭

●かまぼこ　代　三銭　四銭　五銭

極上等
●きんた ふくら煮　代　五銭ヨリ

●鑵詰の部
○一ポンド以上大鑵いろいろ

- ○うまぼこ　一ポンド入　代十六銭
- ○玉子摺身　同十六銭
- ○くじら　同二十銭
- ○鶏肉　同二十五銭
- ○きんこ　同二十五銭
- ○あわびがい　同二十二銭
- ○とりがい　同十四銭
- ○はまぐり　同十四銭
- ○かき　同十四銭
- ○うなぎ　同二十五銭
- ○あなご　同二十銭
- ○えら魚　同十六銭
- ○いか　同二十銭
- ○まつたけ　同十六銭
- ○きんかん　同十四銭
- ○くり　同十六銭

●はつやき
- 仝そまき　代拾銭ゟ
- 仝角形
- ○仝梅形　大代
- 仝地紙　中　三銭五厘ゟ
- 仝分銅　小
- 外にいろいろ

●田麩之部
- ○鯛でんぶ　曲物入　代五銭ゟ
- ○かつを　同　同五銭ゟ
- ○そるめ　同　同五銭ゟ
- ○さやがき　同同二銭五厘ゟ
- ○青とうがらし　同二銭九厘ゟ
- ○糸こんにやく　同二銭五厘ゟ
- ○青松葉　同二銭五厘ゟ
- ○こんぶ　はやそるもの　同二銭五厘ゟ

●味噌漬之部
品によりて桶入六銭より

- ○たい　○まながつを
- ○くづあ　○まそ
- ○えび　○あわびがい
- ○さわら　○あなご
- ○いか　○はも
- ○かまそ　○きそご

其他魚の都合にていろいろ

●鯛みそ
- ○かつをみそ　曲物入　代五銭ゟ
- ○きんこ　同　同五銭ゟ
- ○えび　同　同五銭ゟ
- ○たい　同　同五銭ゟ
- ○すつぽん　同　同五銭ゟ
- ○精進かやく　同　同一銭五厘ゟ
- ○そるめ　同　同二銭五厘ゟ

●鯛せんべい　鑵入十五枚　代十銭ゟ
○並魚せんべい　代一銭

右せん屋いれ焼塩を少し入れ白湯にて用ゆれば即座の吸物となり上戸下戸ともに用ひて至極佳品なり

- ●おた福まめ　曲物入　代三銭ゟ
- ●北海うに　同　代五銭ゟ
- ●同うにえをうら　袋入　同　代五銭ゟ
- ●便利かつを　三銭ゟ
- ●ならづけ　代三銭ゟ
- ●みそ小うり　白赤もりみそ　代一銭より
- ○天ぷら　代三厘ゟ
- ●えん丈　代三銭五厘ゟ

●切手　拾銭　拾二銭　拾五銭　拾八銭　廿五銭　卅銭　五十銭

一弊店製造の蒲鉾及其他の製品は何れも精良品を相撰みたる故暑寒ニ風味の變るなし亦他の粗製とハ異れども遠方へ御進物ニハ前以て御注文被下候ハヾ別製ニ佳良の品を以て數日間を保つと受合ふ尚此他ニ鑵詰折詰曲物。籠。余ハ御好ニ應じ如何樣ニても調進仕候間多少に不限陸續御用向キ仰被下度偏ニ奉希上候

明治十九年
二月改正

万

大阪道頓堀戎橋南詰
飯井萬助

マカホン
齋藤

稲庭干温飩

㊎ 製造品直段廣告

●別製極上等 焼通し蒲鉾　代　大 廿錢　中 拾錢　小 六錢

●かまぼこ　代　三錢　四錢　五錢

●極上等 きんとん ふくら煮　代　五錢ヨリ

●鑵詰の部　○一ポンド以上 大鑵いろ〳〵

○うまぼこ 一ポンド入	代 十六錢
○玉子摺身	同 十六錢
○くじら	同 二十錢
○鶏肉	同 二十五錢
○きんこ	同 二十五錢
○あわびがい	同 二十二錢
○とりがい	同 十四錢
○はまぐり	同 十四錢
○かき	同 十四錢
○うなぎ	同 二十五錢
○あなご	同 二十錢
○ゑら魚	同 十六錢
○いか	同 二十錢
○まつたけ	同 十六錢
○きんかん	同 十四錢
○くり	同 十六錢

●はつやき　代

○仝そまき　拾錢ゟ

○仝角形

○仝梅形 大代

○仝地紙 中 三錢五厘ゟ

○仝分銅 小

外ニいろ〳〵

●田麩之部　曲物入

○鯛でんぶ	代 五錢ゟ
○かつを	同 同 五錢ゟ
○そるめ	同 同 五錢ゟ
○さやがき	同 同二錢五厘ゟ
○青とうがらし	同二錢九厘ゟ
○糸こんにやく	同二錢五厘ゟ
○青松葉	同二錢五厘ゟ
○こんぶ はやそゑるもの	同二錢五厘ゟ

●味噌漬之部　品によりて 桶入六錢より

○たい　○まながつを

○くずあ　○まそ

○ゑび　○あわびがい

○さわら　○あなご

○いか　○はも

○かまそ　○きそご

其他魚の都合にていろ〳〵

●鯛みそ　曲物入

○かつをみそ	代 五錢ゟ
○きんこ同	同 五錢ゟ
○ゑび同	同 五錢ゟ
○たい同	同 五錢ゟ
○すつぽん同	同 五錢ゟ
○精進かやく同	同 一錢五厘ゟ
○そるめ同	同 二錢五厘ゟ

●鯛せんべい　鑵入 代十錢ゟ

○並魚せんべい　十五枚 代一錢

右せん屋いは焼塩を少し入れ白湯にて用ゐれば即座の吸物となり上戸下戸とも用ひて至極佳品なり

●おた福まめ 曲物入	代 三錢ゟ
●北海うに	同 代 五錢ゟ
●同うにゑをうら 袋入	同 代 五錢ゟ
●便利かつを	三錢ゟ
●ならづけ	代 三錢ゟ
●みそ小うり 白赤もりみそ	代 一錢より
○天ぷら	代 三厘ゟ
●ゑん丈	代 三錢五厘ゟ

●切手　拾錢　拾二錢　拾五錢　拾八錢　廿五錢　卅錢　五十錢

一弊店製造の蒲鉾及其他の製品は何れも精眞品を相撰みたる故暑寒に風味の變るなし亦他の粗製とは異れども遠方へ御進物には前以て御注文被下候はゞ別製に佳眞の品を以て數日間を保つ樣受合ふ尚此他に鑵詰折詰曲物。籠。余は御好に應じ如何樣にても調進仕候間多少に不限陸續御用向キ仰被下度偏ニ奉希上候

明治十九年
二月改正

大阪道頓堀戎橋南詰

㊎

飯井萬助

拝啓本會第三回總集會來ル十日十一日
ノ両日一ツ橋外帝國大學講義室ニ於テ
相開キ十一日午後ハ本會總裁有栖川二
品宮殿下御臨場被爲在候ニ付御操合セ
御出席有之度此段御案内申上候也

明治十九年四月一日

大日本教育會副會長
辻　新次

田中芳男殿

會長答詞済ノ上豫備
門樓上知所ヘ御立寄
アレ

本郷區金助町七十一番地
田中芳男殿

來ル九日園會相催候間午後三時揃
邸ヘ御來車致希望候拜具

明治十九年四月四日

公爵三條實美
公爵夫人治子

元老院議官田中芳男殿
〃　夫人

追テ當日雨天ニ候ハヽ翌十日ニ差延候
也

田中芳男殿

東京京橋區銀座二丁目拾五番地
下野屋

Y. KIMURA.

DEALER
OF
DRESS SILKS, CRAPES, & HANDKERCHIEFS,
SHAWLS, SCARVES, TIES,
LADIES & GENT'S DRESSING GOWNS,
SMOKING CAPS & JACKETS,
&c. &c. &c.
EVERY VARIETIES OF SILKS TO ORDER.

No. 15, GINZA-NICHOME,
TOKIO;
JAPAN.

木村第二支店

明治十九年
三月廿五日
上野公園
水産共進會
第八十五號
開場式入場札
壹枚壹人ニ限ル

皇帝
皇后兩陛下來ル二十八日午後三時濱
離宮御苑ニ於テ觀櫻會御催ニ付延遼
館ヘ參入可有之旨被　仰出候因テ此
段及御案内候也

明治十九年四月十九日

宮内大臣伯爵伊藤博文

元老院議官田中芳男殿
同　令夫人

フロック、コート着用夫人ハ
通常禮服或ハ西洋服着用

當日雨天ナレハ止ム
參會ノ際案内狀ヲ持參シテ掛員ヘ示
スヘシ

元老院議官田中芳男殿
同　令夫人

拜啓今般水產共進會首尾能相濟會頭殿下ニモ
御滿足ニ被思召候就テハ来ル五月二日芝離宮
ヱ御招被成度候間午後三時御来會可被下殿下
之命ニ依リ此段御案内申進候也

明治十九年四月三十日

大日本水產會會頭
小松宮別當
三宮義胤

田中芳男殿

追テ當日ハ「フロックコート」若クハ羽織袴着用至急諾否ノ御報被下度候

御菓子調進所
和漢砂糖類
珎物砂糖漬類
內倉富士前町
美加和家松壽

田中芳男殿

小松宮別當
三宮義胤

淵上理作
巻烟草販賣所
弊店所鬻ノ紙巻烟草ハ最モ佳良ノ原葉ト用紙トヲ以テシ有効無害ナルハ勿論殊ニ此製方ハ米國ノ風ニ摸倣シ其香氣含味共彼ノ產ニ讓ラズ一喫爽然トシテ神身ノ快美ヲ覺ヘ給フコトアルヘシ
東京銀座三丁目八番地
FUCHIGAMI RISAKU
CIGARETTES DEALER
GINZA SANCHOME No8

三重縣物產
伊勢國四日市南町
萬古陶器
竈元製造所 河村又助

田中芳男殿

鑑畫會大會來ル十五日ヨリ十八日マテ四日間池ノ端松源及蓬萊亭ニ於テ開設仕候處大ニ日本繪畫開發進歩ノ徴ヲ顯出候品モ相見候ニ付御入覽ノ爲メ該券及進呈候也

但十七日午後一時ヨリ賞金贈與ノ理由演説之儀ハ上野公園内文部省官舍ニ於テ開場候ニ付御入來ノ節ハ本券御持參可被下候事

明治十九年四月十三日

鑑畫會大會幹事

平山成信

ダブリウー、エス、ビゲロー

イー、エフ、フェノロサ

河瀨秀治

本郷區金助町七拾弐番地

田中芳男様

鑑畫會幹事

東京木挽町

起立工商會社

第二回大會

特別入覽券

啓然者本會大會賞與理由之
述今十七日午後開演之積巾
置候處雨天に付御臨席御迷
と奉存候間明十八日午後に
期仕候條何卒御幸臨相願候
[illegible]首

十九年四月十七日

於上野松源

鑑畫會

鳳紋賞牌

澳國大博覽會表狀

大日本帝國山梨縣

國産菓子製造

甲府八日町牡丹亭

武藤太郎右衛門製

鑑畫會大會來ル十五日ヨリ十八日マテ四日間池ノ端松源及蓬萊亭ニ於テ開設仕候處大ニ日本繪畫開發進歩ノ徴ヲ顯出候品モ相見候ニ付御入覽ノ爲メ該券及進呈候也

但十七日午後一時ヨリ賞金贈與ノ理由演説之儀ハ上野公園内文部省官舍ニ於テ開場候ニ付御入來ノ節ハ本券御持參可被下候事

明治十九年四月十三日

鑑畫會大會幹事

平山成信

ダブリウー、エス、ビゲロー

イー、エフ、フェノロサ

河瀬秀治

田中芳男殿

本郷區金助町七拾番地

田中芳男様

鑑画会事務所

東京木挽町

起立工商會社

拜啓然者本會大會賞與理由之演述今十七日午後開演之積申上置候處雨天に付御臨席御迷惑と奉存候間明十八日午後に延期仕候條何卒御幸臨相願候

頓首

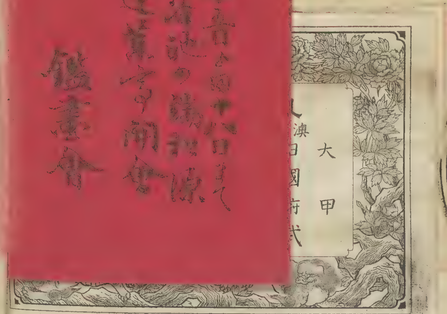
十九年四月十七日

於上野松源

鑑畫會

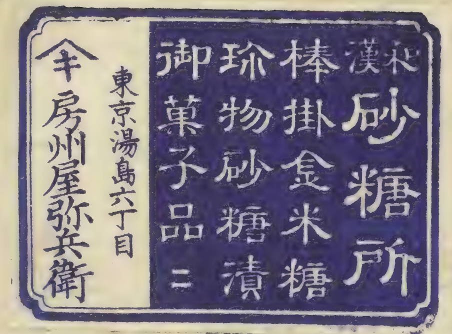
四月十五日より十八日まて於下谷池の端松源及蓬萊亭開會

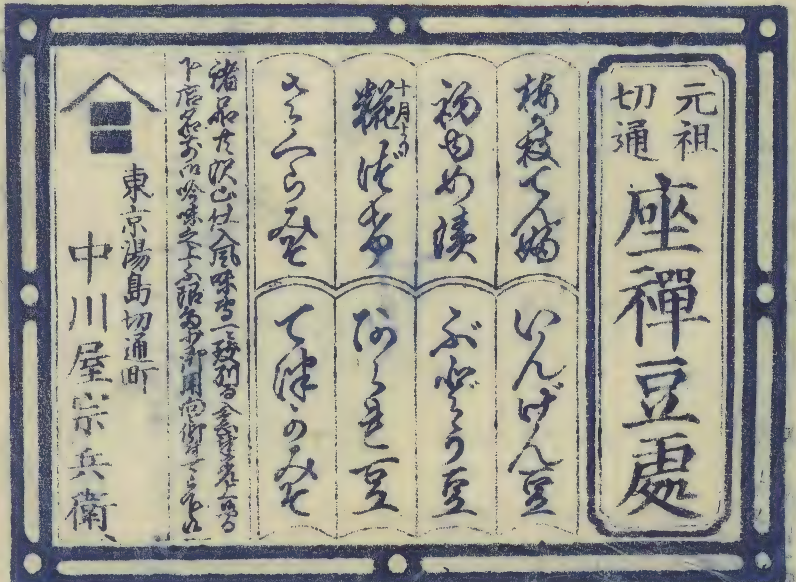
鑑畫會



品目		
大高檀紙	大画箋	[illegible]
中高檀紙	中画箋	裏打白紙
小高檀紙	小画箋	裏打画箋
越前雲紙	五色金蠟箋	トヲサ美濃紙
越前五色墨流	三色蠟箋	トワケ唐美濃紙
越前奉書品々	画絹品々	薄葉手帳品々
越前奉書五色染	本渡紅唐紙	帳面品々
越前尺六鳥之子	地紅唐紙	画帖品々
越前黄鳥之子	唐紙	名古屋扇品々
越前白鳥之子	扇面紙	西洋賤手帳品々
越前御朱印間合	白紙	西洋紙小形罫引
御巻物品々	金紋紙品々	唐紙罫引書翰紙
金銀水引品々	金筋紙	唐紙半切品々
奉書判鵜飛	折手本品々	のし紙状袋
美濃判鵜飛	西洋紙品々	紋美濃紙
半紙判鵜飛	書画扇子品々	西洋紙書翰筒

上野[illegible]黒門町[illegible]





蠣ゝ粉

北海道釧路國厚岸郡製造人小島利兵衛

明石名産 海藻花

花ハ酢にあらねど浦蛸のかざしにて花
子宝のあまたある[illegible]
酌酒の[illegible]
いつのあしたにも[illegible]
千代かけて[illegible]

はかりなき花ハてらひもして浸ひてのち
[illegible]酒を[illegible]
[illegible]

明石西魚町 壽賀精製

此舗せんべいハ余が發明の新製にして世[illegible]の
そのもとハ其原質全く別なり殊に名高き美浦の
新鮮活發魚類を製するものなれば[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
是非[illegible]試用の資とせ
此品ハ何れの料理にも用ひて一度沸煮して
る方風味よし
吸物にハ[illegible]汁[illegible]生姜[illegible]
[illegible]
[illegible]
山葵[illegible]

西垣茂助謹述

商標 TRADE MARK 和糸製
山口縣大島玖珂熊毛三郡聯合
木綿織物改良組

山口縣大島玖珂熊毛三郡聯合
木綿織物改良組本紺之証
紺屋

尺幅改
下野佐野角
天
雪曝縮
半田富吉製

手製新麦こがし

堀之内村
大郷佐太郎

東瀛名産
寒玉海参糖

海参トハ其人身ニ効アル人参ニ劣ラサルヲ以テ之ヲ名ケ海ノ人参タルヲ謂フナリ清人特ニ之ヲ珍重スルコトハ我邦人ノ比ニ非ズ我志摩國ハ夙ニ海参ニ富ミ実ニ天下海参ノ好キハ其冠タル者ニシテ夙ニ世ノ聲價ヲ博クセリ今ヤ金玉糖ヲ改良シ海参ヲ加ヘテ之ヲ製シ寒玉海参糖ト名ク其製法極メテ精良ナレバ四季ノ間之ヲ蓄フルモ決シテ腐敗ノ憂ナク益々滋味ヲ生シテ満面ニ斑點ヲ顕シ其妝ノ奇ナル無数ノ珠玉ヲ散スルカ如シ獨リ茶人酒客之ヲ用テ意ヲ娯シムルノミナラズ甚滋養ノ効實ニ大ナリ幸ニ之ヲ嘗メ試ミテ知リ給ハンコトヲ請フ

大日本志摩國答志郡坂手村春盛堂製

紙達送年

技術	着局				局			
	月 日	分局	第二八號	字數 字	午 時 分	月 日	分局

報

タナカヨシヲ

メイセイ

ミヨコニンサレシカヘヤマモトヒトリマイル

セキザワ
メイセイ

田中芳男殿

御稍

扇子 壹對

東洋繪畫共進會之章

明治　年　送達紙

報	發局					着局			
スベテ電信ヲ頼ミ出ルモノハ通信規則ノ通リ心得ベキ事	第　號	分局	月　日	時　分	字數　字	第　號	分局	月　日	技術

届　トウケイ …

出　セキサワ メイセイ

ミヨコニシサレツカヘヤ
マモトヒトリマイル

扇子 壹對

東洋繪畫共進會之章

本場 大

玉川乾海苔

大師門前

賣捌所

領収之登

記

一 [illegible]

明治十五年十一月三日

文部省

茶銘定價表

玉露製 目量壹斤百六十匁定

金泉	定價金一圓
湖月	同 一圓二十五錢
遠近	同 一圓五十錢
湖心	同 一圓七十五錢
玉鳳	同 二圓
甘露	同 二圓二十五錢
呉竹	同 二圓五十錢
碧玉	同 二圓七十五錢
瑞穂	同 三圓
蒼海	同 三圓二十五錢
玉乳	同 三圓五十錢
梨花	同 三圓七十五錢
瓊乳	同 四圓
芳香	同 四圓二十五錢
薫静	同 四圓五十錢
清風	同 四圓七十五錢
月斜	同 五圓
玉堂	同 五圓二十五錢
凉香	同 五圓五十錢
雲馨	同 六圓

玉露製特別佳品

塊珠　巖苔
幽渓　琴麗
瓊露　流葉
清岳　禪味

御濃茶製

初昔　後昔
紅薫　龍鱗
極詰　上極詰

御薄茶製

別儀　並別儀
上別儀　廣葉
極揃　上極揃
幾千代　友白髪
春霞　千代友
折鷹　峰ノ霞

御煎茶製

一森	定價金三十錢
山富貴	同 四十錢
喜撰	同 五十錢
正喜撰	同 六十錢
花橘	同 七十錢
池ノ尾	同 八十錢
霜ノ花	同 九十錢
大福	同 壹圓
壽	同 一圓廿五錢

雜物數品

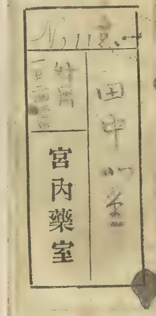
鳫ヶ音	定價金三十五錢
玉露粉	同 五十錢
喜撰粉	同 四十錢
正喜撰粉	同 四十五錢
玉靈沉	同 八十錢
煎茶沉	同 七十錢
宿り木	同 二十五錢
柴舟	同 三十錢

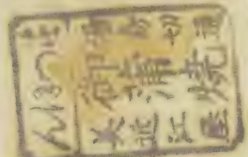
自園 桃下園 定價金八十錢

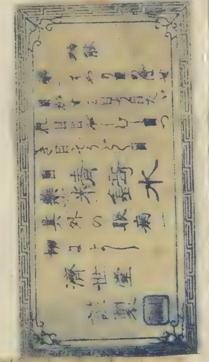
弊舗儀從來茶商營業來候處其品位之精製且美味ナルヨリ西方諸君ニ御購求ヲ蒙リ日ニ增御注文澤山被仰付難有奉感謝候依之今般一層商業之隆盛ヲ謀リ山城地方ハ不及申全國之銘茶ヲ取寄特別物品ヲ吟味シ且其價之廉ナルヲ旨トシ廣販賣仕候間諸君何卒御試撿之上多少不論御購求之程只管奉願上候也

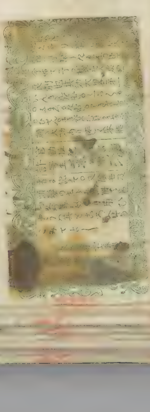
附御進物壺詰武力詰一閑張詰御茶ノ子類ハ格別美麗仕立安價ニ販賣仕候也

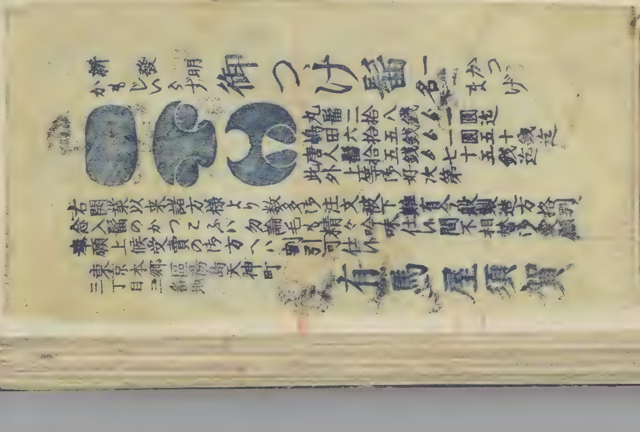
本舗 大坂南區長堀橋南詰南ヘ入東側
茶舗 金泉堂謹白











呉服 太物 賣出し

口演

御位益御機嫌克為遊…恭賀之至…

弊店儀四方諸君蒙御贔屓日増し繁栄…

[illegible]

大安賣 [illegible]

[illegible]

小田原十字町壹丁目龍淵寺西郵兵製

小林 力 小きもし

外神田明神下

甚所町壹丁目

小林惣衛

未ノ十一月 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 五日間

恵の久パッチリ [illegible]

元祖 大 パッチリ 恵の久 神田須田町 長岡製

御菓子

永坂町 藤井屋 龜澤製

本郷金助町
七拾四番地

田中芳男殿

拜啓陳者四月十八日上野公園内東洋繪畫共進會場ニ於テ褒賞授與式執行候條當日午後一時御臨場被下度此段御案内申上候敬具

明治十九年四月十三日　東洋繪畫共進會幹事長

野村素介

田中芳男殿

追テ御來場ノ節ハ此招狀門衛ニ御示シ被下度候也
ブロックコート御着用之事但羽織袴着用モ妨ナシ

東洋繪畫共進會褒賞授與式順序

一四月十八日褒賞授與式參會ノ諸員ハフロックコート着用但シ羽織袴代用不苦
一午前八時副總裁以下掛員一同參着
一午後一時十五分副總裁以下掛員幷優待人出品人式場ニ先着ス
一午後一時三十分總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ニ着席先着ノ諸員一同敬禮ス此時奏樂
一審査長ハ總裁殿下ノ前ニ進ミテ審査決了ノ旨ヲ演ブ
一總裁殿下ハ褒賞ヲ授與スル旨ヲ演述ス右了テ五分時間奏樂
一總裁幹事長審査長ハ褒賞授與ノ席ニ就ク
一公務部長ハ受賞人ヲ順次ニ呼出シ總裁ノ面前ニ進マシム
一幹事長ハ褒賞等級品名姓名(何等賞品名一個何府縣何誰ト)ヲ讀上グ
一總裁殿下ハ褒賞ヲ授與ス
但シ一等賞以下一等褒狀マテハ各自ニ授與シ二等三等褒狀ハ府縣毎ニ一括ニシテ之ヲ總代人ニ授與ス
一右了テ出品人總代答詞ヲ述ブ
一褒賞等級ノ替ル毎ニ五分時間奏樂
一總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ヲ退ク此時奏樂
一次テ參列ノ諸員式場ヲ退キ設ノ席ニ休憩

△特等者 △一等 〇總裁 △勅任以上 〇總裁席 △審査長 △受賞席

奏任以上

判任官 各會社長 新聞社員

出品人 代理人

名譽會員 幹事 □公務掛 審査員 事務員 雇員

賞狀臺

樂隊

御折詰 壹人前 金五錢 金二錢

新製三色麵發賣廣告

夫れ索餅の世人の口に愛らるゝ最も古し。就中先代舊事記と歟に牽牛織女の二星を祀るに。欠く可からざる祭供にして。是れ糸織の象ちに表し。並びに錬麵を以てするハ。鋤耕の象ちに表すと。載せられしも。其星うつり。物換り。現今ハ夏候を専らに。各位の嗜好すると雖も。世に在り經れし該品也。滋養に乏く。消化に遲く。爲めに吐瀉を來すの畏れあること。常に衛生家の說く所故に。當家の主人數年の經驗にて。玆回發賣索麪ハ滋養にあるとも健康に。害を與へる憂ひなきハ。煠でる湯島の御神に誓ひ。彼の御愛樹に擬へて。梅松櫻の三色麪。暑中の折詰御進物にハ。鳥渡輕便で見体をよく。又御近所へ特別に。需に應じて出前を致せバ。午晝ハ炎熱を竹蔭に避ゑ。夜間も清風を柳外に迎ゐの時。御一酌の下物に。御用向仰付られ度。且つ舗頭にても煠立を。氷に冷して御試喫の爲め。小賣もすれバ此街限と言もさらなり。本郷下谷と上を下。叡東山の永當〳〵開店の當日より。切通の引きも切らぞ。加何な品かと多少とも御購求ならば主人の大幸。何卒以來御愛顧の。あつさに堪ぬ汗の衣。更る浴衣の單に希ぬと。美壽の屋の簾内より。無調法なる口上を演るになん

濱町の隱士菊垣主人誌

六月十四日

湯島切通町

美壽麵屋

蛎がら町共遊舍ゐん刷

第　　號

證

一 封書
〆
　　　　　　壱通

右正ニ落掌致候也

明治十九年四月廿四日　　武井守正

執事

田中芳男殿

證

一 新[illegible]
　[illegible]
　　　　　　壱通

右正ニ落手候也

明治十九年四月八日

元老院

田中稲男殿

証

一 [illegible]半靴 壱足
　代七円

右正ニ受取候也

明治十六年一月十七日

東京神田三河町壹丁目壹番地
依田 伊勢勝 組合靴場支店

田中様

菓海苔

信州小布施中町

貨物送リ証

明治十九年　月　日

運賃	入品	原價	荷次問屋	出主
			京都東洞院三条北入	

番號

荷印

揚所

次所

届先

右之通正ニ運送候條貴着御検査之上御請取可被下候也

日午　時ヨリ　會議相
開候條無遅滞御出頭可有之此段
及御通知候也

明治　年　月　日

大阪商法會議所
理事

官許

起死回生
仙薬

大福帳 諸紙大安賣

上下直段 相改格別

越前奉書紙
同大高檀紙
同小高紙
同鳥子紙
雁皮紙
五色間似合紙
同形付
同砂子まき
同丁子引
本唐紙
同裏打
伯紙
同裏打
同襖砂引

大中小 雅仙紙
御襖紙
奉書平紙
同形付
御襖椽数〆
襖金引手〆〆
表具紙数〆
罫引具綴 手帳類
折手本数〆
書画雅帖
和洋文筒
目録包
手拭包
御巻物

御扇子数〆
揉紙襖砂引
同罫引
繪半切
雁皮半切
同罫引
五色半切
式紙短冊
東千代紙
金銀紙
西洋紙
糸引品々
更砂紙
利久紙

地唐紙

半

東京本郷區湯島天神町貳丁目

上村平兵衛

門

[illegible]

大安賣仕候

湯島六丁目廿弐番地

小林久四郎

天上印
大極上削墨
正味百目入

沖
ほけ
鰒

御用
博多中間町
御菓子所
松屋利右衛門

沖
ほけ
鰒

三菱滊船號

CIGARETTES, CIGARS & TOBACCO

WHOLESALE AND RETAIL

MATSUBAYA. C. MATSUBEI.

KIOBASHIKU GINZA ICHOME NO.4 TOKIO.

MANILA CIGAR, HABANA CIGAR, RUSSIA CIGARETTES, AMERICAN CIGARETTES ETC.

特別第壹号	大巻百本入	一個定價六十錢	第貳号	中巻二百五十本入	八十錢
第壹号	太巻百本入	仝五十錢	第三号	中巻二百五十本入	五十八錢
第貳号	太巻百本入	仝四十錢	第六号	中巻二百五十本入	四十八錢
第貳号	中巻百本入	仝三十五錢			
第三号	太巻百本入	仝三十錢	第二号	太巻二百本入	七十五錢
第三号	中巻百本入	仝二十五錢	第三号	太巻二百本入	五十八錢
第五号	太巻百本入	仝三十錢	第六号	太巻二百本入	四十八錢
第五号	中巻百本入	仝二十五錢			
第六号	大巻百本入	仝三十錢	第三号	中巻五百本入	壹圓二十錢
第六号	太巻百本入	仝二十五錢	第六号	中巻五百本入	九十五錢
第六号	中巻百本入	仝二十錢	第七号	中巻五百本入	七十錢
第七号	太巻百本入	仝二十錢			
第七号	中巻百本入	仝十五錢	第六号	中巻五十包	九錢
第十号	中巻百本入	仝十二錢	第七号	中巻五十包	七錢
第十一号	中巻百本入	仝拾錢	第十号	中巻五十包	五錢

壹人乔	廿本入	八錢	廿五個入	壹個壹圓八十錢
五人男	同	四錢	二十個入	壹個七十五錢
第六号	同	五錢	廿五個入	壹個壹圓十錢
第七号	同	四錢	廿五個入	壹個九十錢
第十号	同	貳錢	廿五個入	壹個四十八錢

FRENCH CIGARETTES, TURKEY CIGARETTES RICE PAPER & PIPE, OF ALL KINDS

西洋巻煙草賣捌及日本巻煙草製造本舗

東京々橋區銀座壹丁目四番地

松葉屋　千葉松兵衛

三區 二類 第七八號

物名	白木綿
數量	壹疋
代價	金八拾七錢
出品主	大坂府下河内國若江郡東郷村 木村庄平

大阪嶋之内
宗右衛門町
白木橋
北詰西之辻角

正味拾斤入

中製

九七二

賃 濟

明後十二日（第二土曜日）午後一時本會事務所に於て第四十九回小集會相開左記の宿題其他農事に係る談話を相催し候に付成るへく御繰合を以て御參會被下度右御案内申上候以上

宿題

洋種蔬菜調理法

明治十九年六月十日

大日本農會

追て同日は三田育種場にて新收の洋種蔬菜類を調理し來會諸君の品評に供し候筈に有之候間此段併て申進候

所に於て第五十回小集會相開左記の演述
に付成るへく御繰合を以て御參會被下度

特別會員　田中芳男君

段御演述相成候件も有之候は、其演題至
數種を來會諸君の品評に供し候筈に有之

大日本農會

第五十一回小集會相開左記の宿題其
新收の洋種果蔬類を品評に供し候に
十七日（第三金曜日）より十九日（第三
地本會々堂厚生館に於て第十六回
種の農産をも彙集品評いたし候に付
則第拾八條但書により會員證御携帶
成候とも入場料を要せす候右御案内

大日本農會

集會の宿題は菽類諸件に有之候間此
の他に別段御演述相成候件も有之候
申進候

本月十八日午前第九時築地本願寺內本會事務所ぇ於て本會規則第二十六條ぇより總會相開き總裁宮殿下より午後第二時御臨席相成且左の演說も有之候間御差操御出席有之度候尤當日の出品ハ左の如くぇ候間是亦可成御出品相成度候

書　畫　七寶　樂

一七寶ぇ屬する說　ドクトルワクチル氏演述

一源氏物語中繪畫の話　黑川眞賴氏演述

右終て更ぇ同所ぇ於て親睦會相開候間御臨席相成度宴會費金一圓ハ當日御持參可被下候

但準備之都合も有之候間親睦會御出席の有無來る十六日迄ぇ當事務所へ御通知有之度若し御報知無之時ハ御出席と見做し準備可致候事

十九年四月十日

龍池會幹事

[illegible]

…ノ時節ニ付各員ノ御都
…來上ケ同日午前九時ヨリ相
候間可成御來會相成度

妻木賴黃氏演述

演者未定

番外御出品ハ御隨意ニ有
會員ノ照會ヲ以テ午後
…成度候也

龍池會

今般上野公園內櫻ケ岡地所建物共宮內省ヨリ拜借候ニ付昨三十日ヨリ本會事務所ヲ同所ヘ移轉候條此段及衒通知置候也

明治十九年七月三十日

龍池會幹事

追テ來ル八月常會ノ義ハ暑中ニ付休會致シ候此段合セテ及衒通知候也

…疫流行致候間
…會致候條此段
…公園內櫻ケ岡
龍池會　幹事

…本會定期會相開候筈
…ニ付一時延期致候
…通報可及候也

…日本織物協會

拜啓陳ハ諸新聞ニモ廣告セシ如ク本月廿五日午後一時柳橋生稻樓ニ於テ第九回信濃親睦會相開候間同日ハ百事御繰合セ且ツ御懇意ノ諸彥御誘引ノ上御參會有之度希望仕候尤モ準備ノ都合モ有之候條可相成ハ當日前ニ御來會ノ有無日本橋區阪本町七番地田中銀行ヘ御報道被下度候也

明治十九年四月廿一日

幹事

辻新次　伊澤修二
中川元　田中菊次郎
皆川四郎　小川正直
二見朝隈

ハ遠路御見送
速參堂御禮可
先以書面如此

本町廿二番地
島文二郎
島郁太郎

御建設被成下御厚志難有
御寄贈之金員意外ノ多額
ヨリ支拂ノ殘金御惠與被
御禮申上候以上

本所區綠町一丁目
四十九番地
成島復三郎

明後十日(第二土曜日)午後一時本會事務所に於て第五十回小集會相開左記の演述並に宿題其他農事に係る談話を相催し候に付成るへく御繰合を以て御參會被下度右御案内申上候以上

演述

農產製造說　　特別會員　田中芳男君

宿題

果實食用法

明治十九年七月八日

大日本農會

追て同日席上に於て通常談話の他に別段御演述相成候件も有之候は丶其演題至急御通知被下度且又同日は農產製造品數種を來會諸君の品評に供し候筈に有之候間此段併て申進候

第五十一回小集會相開左記の宿題其…新收の洋種果蔬類を品評に供し候に…十七日(第三金曜日)より十九日(第三…地本會々堂厚生館に於て第十六回…種の農產をも蒐集品評いたし候に付…則第拾八條但書により會員證御携帶…成候とも入場料を要せす候右御案内…申進候

集會の宿題は菽類諸件に有之候間此…の他に別段御演述相成候件も有之候

大日本農會

…ノ時節ニ付各員ノ御都…繰上ケ同日午前九時ヨリ相…候間可成御来會相成度

妻木賴黃氏演述

演者未定

番外御出品ハ御隨意ニ有…會員ノ照會ヲ以テ午後…成度候也

龍池會

本年ハ殘暑甚シク且悪疫流行致候間来ル十九日ノ常會ハ休會致候條此段及御通知候也

十九年九月十二日

上野公園内櫻ケ岡

龍池會幹事

…本會定期會相開候筈…ニ付一時延期致候…通報可及候也

大日本織物協會

亡父惟精葬送之節ハ遠路御見送被下難有奉存候早速參堂御禮可申述之處喪中ニ付先以書面如此御座候恐惶謹言

五月廿日

神田岩本町廿二番地

島文二郎

島郁太郎

御建設被成下御厚志難有御寄贈之金員意外ノ多額ヨリ支拂ノ殘金御惠與被御禮申上候以上

本所區綠町一丁目四十九番地

成島復三郎

明後十一日第二土曜日午後一時本會事務所に於て第五十一回小集會相開左記の宿題其他農事に係る談話を相催し且三田育種場にて新收の洋種果蔬類を品評に供し候に付成るへく御繰合を以て御參會被下度將又來十七日(第三金曜日)より十九日(第三日曜日)まて三日間京橋區木挽町貳丁目十四番地本會々堂厚生館に於て第十六回農産品評會相開蔬菜、果實、製茶を主とし旁他諸種の農産をも彙集品評いたし候に付成るへく御繰合を以て列品御參觀被下度尤規則第拾八條但書により會員證御携帯の時に限り家族幷に朋友三名以内を御誘引相成候とも入場料を要せす候右御案内申上候以上

宿題

果實食用法

明治十九年九月九日

追て來十月九日(第二土曜日)第五十二回小集會の宿題は蔬類諸件に有之候間此段豫て御承知の上當日席上に於て通常談話の他に別段御演述相成候件も有之候は丶其演題本月中に御通知被下度右併せて申進候

大日本農會

來ル七月十八日例會ノ処暑中賜暇ノ時節ニ付谷員ノ御都合ヲ計リ本月ハ第三日曜十一日ニ繰上ケ同日午前九時ヨリ相開キ午後一時ヨリ左ノ演説モ有之候間可成御来會相成度候會席ハ築地本願寺

一　画　　書　　彫刻器

一室内装飾品ノ話　　妻木頼黄氏演述

一書画科ノ話　　演者未定

當日ハ右品可成御出品相成度尤番外御出品ハ御随意ニ有之且會員外ニテ傍聴望ノ人ハ會員ノ照會ヲ以テ午後一時迄ニ来輙不苦御誘導相成度候也

七月九日

龍池會

來ル二十八日ヨリ本會定期會相開候筈ノ處目下悪疫流行中ニ付一時延期致候開會日限ハ追テ御通報可及候也

明治十九年七月

大日本織物協會

拜啓然者亡父柳北紀念碑御建設被成下御厚志難有奉存候且右建設費トシテ御寄贈之金員意外ノ多額ニ相成候趣ヲ以テ發起人ヨリ支拂ノ殘金御惠與被成下是亦難有拜受仕候右御禮申上候以上

明治十九年六月

本所區緑町一丁目
四十九番地

成島復三郎

華甲自壽詩 并引

我邦祝華甲之壽沿習既尚矣大瀬實以文政丙戌三月三日生今歳正値周暦因欲聊自賀時墨上花候游屐襍遝遂不果頃辱知 諸賢為予謀設筵于煙波樓以見祝馬壽高義隆重不勝感戴乃賦長句三首以呈

諸賢云

夢裏乾坤六十年滄桑閲去骨成仙菲材秖合甘樗散弱質何圖得瓦全昭代風流名士會良辰禊事宿生縁鷗盟鷺伴無恙長占酔郷花月天

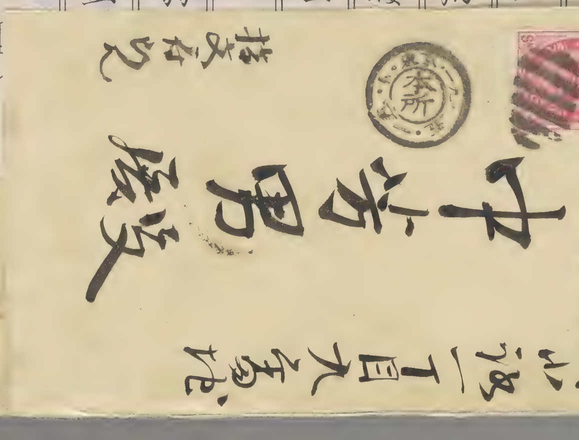
瞥眼頻看人世更依然小技竊聲名泥龜不灼因無智鐵硯成坳未輟耕鄰下衣冠先進重魯邦俎豆後生輕此身何敢外郷飲惟擬初筵賦鹿鳴

處士江天寄一星不言身跡似浮萍健能學圃頭添白貧只耽書眼尚青老境吟閒鷗入社故情交淡鶴忘形兕觥旨酒荷高義好借餘醺延九齡

明治十九年五月初吉 濱村大瀬頓首拜草

十還暦ニ付本月
於テ華甲壽筵ヲ
雨ニ關ラス御枉
頻シ候得バ來ル廿日
番地佐和正方ヘ
金壹圓

亀谷行
大槻修二
關根美柔
杉山令吉
林信
高木法古
田澤静雲
楓川亭釣古
鳩居堂保平



華甲自壽詩 并引

我邦祝華甲之壽沿習既尚矣大瀞實以文政丙戌三月三日生今歲正値周曆因欲聊自賀時墨上花候游塵襍遝遂不果頃辱知　諸賢為予謀設筵于煙波樓以見祝焉壽高義隆重不勝感戴乃賦長句三首以呈　諸賢云

夢裏乾坤六十年滄桑閲去骨成仙菲材祗合甘樗散弱質何圖得瓦全昭代風流名士會良辰禊事宿生緣鷗盟鷺伴幸無恙長占醉鄉花月天

瞥眼頻看人世更依然小技竊聲名泥龜不灼因無智鐵硯成坳未輟耕鄭下衣冠先進重魯邦俎豆後生輕此身何敢外郷飲惟擬初筵賦鹿鳴

處士江天寄一星不言身跡似浮萍健能學圃頭添白貧只耽書眼尚青老境吟閒鷗入社故情交淡鶴忘形兕觥旨酒荷高義好借餘醺延九齡

明治十九年五月初吉　濱村大瀞頓首拜草

一還暦ニ付本月
於テ華甲壽筵ヲ
雨ニ關ラス御枉
頻ニ候得共來ル廿
番地佐和正方ヘ
金壹圓

亀谷　行
大槻修二
關根美柔
杉山令吉
林　信

高木法古
田澤靜雲
楓川亭釣古
鳩居堂保平

華甲自壽詩 并引

我邦祝華甲之壽沿習既尚矣大獬實以文政丙戌三月三日生今歳正値周暦因欲聊自賀時墨上花候游屐襍遝遂不果頃辱知 諸賢為予謀設筵于煙波樓以見祝焉壽高義隆重不勝感戴乃賦長句三首以呈

社友巖山瀰村大獬今年還暦ニ付本月
廿三日ヲトシ向島植半樓ニ於テ華甲壽莚ヲ
相開候間午後一時ヨリ晴雨ニ關ラス御枉
駕被下度令望仕候拜具
但御臨席ノ有無御手數相煩シ候得共來ル廿日
迄ニ向島須崎村百五十番地佐和正方ヘ
御一報ヲ希フ

丙戌五月

席費金壹圓

町田久成 寺野宗繹 伊和正 杉山孝敏 古澤滋 長谷川清
亀谷行 大槻修二 關根柔 杉山令吉 林信
高木法吉 田澤静雲 楓川亭釣古 鳩居堂保平

書畫展覧

煎茶

拜啓來五月十八日拙宅ニ於テ小集相催度候ニ付同日午後第五時

御來臨被下度致希望候敬具

明治十九年五月十一日　森有禮

元老院議官田中芳男殿

追テ御着服フロツクコート

元老院議官田中芳男殿

本郷区弓町二十二番地

東洋繪畫共進會閉場式順序

一五月廿日午後第三時幹事長以下諸掛員一同フロクコート着用出頭

但羽織袴代用苦シカラズ

一午後三時三十分來會ノ勅奏官以下優待人並出品人出品代理人フロクコート着用參着設ノ席ニ休憩

但羽織袴代用苦シカラズ

一午後三時五十分正副總裁來着設ノ席ニ休憩

一同時幹事長以下諸掛員及來會ノ勅奏官優待人出品人出品代理人式場ニ先着

一午後四時總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ニ着席

一幹事進テ閉場ノ旨ヲ總裁ニ申ス○總裁ハ本會ヲ閉場スベキ旨ヲ演達ス○出品人總代進テ總裁ニ向ヒ祝詞ヲ演ス○[illegible]

一總裁ハ幹事ノ先導ニテ式場ヲ退ク時ニ參會ノ諸員一同敬禮次テ式場ヲ退キ設ノ席ニ休憩

一來會ノ諸員退散

水産会幹事田中芳男殿

午後三時半御臨場被下度此段御案内申上候敬具

明治十九年五月十日　東洋絵画共進会幹事長　野村素介

田中芳男殿

追テ御来場ノ節ハ此招状門衛ニ御示シ被下度候也
ブロックコート御着用之事但羽織袴着用モ妨ナシ

[illegible]　副総裁　総裁

名誉会員　幹事長　審査長　正副幹事　学術委員　審査員　事務掛

各大臣　勅任官　警視総監　華族　奏任官　憲兵長　区長　警察署長　新聞記者

▷出品人総代祝詞席

出品人

出品代理人

拜啓陳者五月二十日上野公園內東洋繪畫共進會場ニ於テ閉場式執行候條當日午後三時半御臨場被下度此段御案內申上候敬具

明治十九年五月十日　東洋繪畫共進會幹事長

野村素介

田中芳男殿

追テ御來場ノ節ハ此招狀門衛ニ御示シ被下度候也
ブロックコート御着用之事但羽織袴着用モ妨ナシ

各大臣
勅任官
警視總監
華族
奏任官
憲兵長
區長
警察署長
新聞記者

名譽會員
幹事長
審查長
正副幹事
學術委員
審查員
事務掛

△出品人總代祝詞席

出品人
出品代理人

牛乳分析告示書

牛込區新小川町三丁目
願人 梅原要助

撿第十三号 牛乳 壹種

本品ハ臭味色共ニ異狀ナク設氏十五度牛ノ温ニ於テ一〇三二ナリ而シテ本品百分中各成分ノ分量左ノ如シ

水分	八五、〇一一
脂肪	四、八八〇
乾酪素	三、五四八
蛋白質	〇、四四〇
乳糖	五、四六一
灰分	〇、六六〇

右ノ試驗成績ニ據ルニ本品ハ善良ノ性質ヲ具有スルモノトス

衛生局東京試驗所
撿明部長
内務技手補 田原良純

撿査主任
内務四等技手 町田伸

善良牛乳發賣廣告

一合	金三錢	
五勺	金一錢五厘	
毎日一合宛ニテ、一ヶ月分	金八拾錢	
仝五勺宛ニテ同斷	金四拾錢	

牛乳ノ滋養分ニ富ミ人身ニ益アルコハ皆人ノ知ル處ナリ然モ不良ノ牛乳ハ却テ健康ヲ害スルノ媒トナルコ亦多シ弊店常ニ善良ノ牛乳ヲ廉價ニ販賣シテ大ニ江湖ノ御愛顧ヲ辱フシ今回乳牛共進會及ヒ農産品評會ニ於テ**賞狀**ヲ賜リ併セテ

衛生局東京試驗所ヨリ左ノ告示書ヲ下賜セラル是皆愛顧諸君ノ賜モノニシテ實ニ弊店ノ名譽感謝ニ堪ヘザル處ナリ爾來益々勉強仕候間嘗ノ倍シ御愛顧ノ程伏テ御奉願候也

附言右格別ニ廉價ナレ共頭書ノ如ク善良ノ成績ニ付信ヲ置キ御飲用被下度御用之節ハ端書ニテ御報知被下候得者續良ノ生乳速ニ配達仕候

明治十九年 月

牛込區新小川町三丁目十九番地
中ノ橋際

牛乳搾取所 梅原要助

廣告

鉛葉ノ製造ハ明治九年ノ秋舊勸業寮ノ製茶掛員ニ於テ創設セラレタルヲ今ヤ移シテ當所ノ專業トナスニ至レルナリ抑此業タル本邦未曾有ノ新工事ニシテ其國益タルヤ辨ヲ竢タス第一該品巨額ノ輸入ヲ杜絶シ本邦鉛山ノ久廢セルヲ再興スルニ足レリ先ツ鉛葉紙トナシテハ專ラ輸出ノ貨物ヲ密封スル要品トナリ鉛延板トナシテハ屋瓦ニ代用シテ能ク飛火ヲ防キ或ハ船底ヲ張レハ能ク漏水ヲ禦ク等頗ル所用ノ廣キヲ知ルヘシ官准ヲ得テ以來鍛錬工夫歲月ヲ累ネ乃チ鉛葉ノ製造ニ於ル厚薄各種ノ適用品ヲ自在ニ製出スルニ至レリ是即開物成務ノ朝旨ヲ奉スル一端ナレハ今之ヲ大方ニ廣告ス冀クハ多少ニ拘ハラス購求試用アランヿヲ請フ

鉛葉紙 色澤銀光アルモノ

茶箱ノ内裝〇總テ香氣ヲ含ムモノヲ密封ス〇大切ナル書籍類古文書畫幅等ヲ包藏スレハ濕氣ヲ受ケス蠹魚ノ患ヲ免レ保存送搬共ニ妙用アリ〇屋舍ノ壁ヲ張リ濕氣ヲ防クニ宜シ

鉛延板

屋瓦ニ代用飛火ニ耐ヘ久キヲ保ツ〇玄關昇降口〇西洋風ノ楷子段〇椽縁〇風呂場下流シ〇井戸端水流シ〇軒端ノ霧除〇橋杭ノ根ヲ包ム〇川船艀船等ノ底ヲ張ル〇五大力等ノ船舷ヲ張ル〇土臺木ヲ包ミ腐朽ノ憂ヒナシ〇櫃ノ内ヲ張籠ル時ハ臭氣ヲ外泄セシメス恭敬ノ誠ヲ竭スニ足ル

渾テ從前ノ銅延板ヨリハ廉價ニシテ細工モ亦容易ナリ代價ハ時々鉛塊相塲ノ昂低ニヨリテ差異アリ茲ニ掲載セス

明治十九年五月

東京京橋區築地新湊町五丁目壹番地

鉛葉製造所

條石片ヲ以テ破砕ス此物塩氣及ヒ土氣有リ以テ硝子ヲ作ル又石鹼ヲ作テ布帛ノ膩垢ヲ洗ヒ去ル又磁器ノ画色ニ用ユ又上好撥多亞私ハ亞利剛的國名ヨリ來ル凡ソ此物ハ其塊小乾燥シテ尖稜多ク天藍微灰色氣眼多キ者佳ナリ又撥多亞私ヲ烊鮮シ漉過メ塩ヲ作ル是レヲ撒兒亞爾加利成徳蓬塩ナリ云即鹼ト名付ク滲透腐蝕ス故ニ薄基子形ニ作リ角法ニ用ユ此塩尋常ノ艸塩ヨリ辛烈酷厲ナリ其故ハ久シク焼燋シ火氣ヲ含孕スルヿ極メテ夥キ故ナリ又布帛ノ膩垢ヲ去ルヿ撥多亞私ノ上ニ在リ撥多亞私ハ硫氣有ル膩垢ヲ去ルヿ又至テ妙ナリ

○性　大燥大熱

○質　塩氣極メテ多シ油氣少シ

○餘蓬　主治閉塞ヲ開達シ又淋石ヲ去リ溲尿ヲ治ス湯ト為シ用ユ

撒利格兒泥亞 羅甸　キトクサ

加利傑泥屈剌丟謨 羅甸　撒利格兒泥亞弗畧地罕私 仝上　撒兒格兒泥亞潛百皃肸練私傑泥屈剌荅 仝上　加利傑泥屈剌荅麻圃私弗畧地罕私利孤訥修謨 仝上　加利瓩郎濤私百皃百丟謨 仝上　撒利格多 拂郎察　傑古撈布的加利 和蘭　促烏達 仝上

此艸灌木ノ如シ古ヨリ皆餘蓬ノ一種ト為ス獨リ多烏

領收證

明治　年　月　日

農商務省

商務局

若州小濱産
生掛蠟燭所
木呂千治郎

若州小濱産
生掛蠟燭所
木呂千治郎

東京銀座貳丁目守田寶丹海板所 愛善社印行

癸未第一月定價改正

正味秤量

小器	六分錫入	定價金拾錢
中器	壹匁三分錫入	定價金貳拾錢
大器	貳匁錫入	定價金三拾錢

明治十六年歳次癸未第一月爲寶丹樓主人囑　友人半類聞書

セシハ今ヲ去ルコト十有八年載チ文久二年壬戌八月ナリ此際ヤ我カ全州各地ニ於テ偶麻疹及ヒ吐瀉大ヒニ行ハル爲ニ鬼籍
發行スル寶丹ノ如キハ能ク其吐瀉ヲ治スルニ實効アルヲ以テ其際一時世ニ聲譽ヲ得タリ然シテ亦此寶丹ハ効用啻ニ其吐瀉
。霍亂。胸腹煩悶。一切氣絶。中毒。感冒。眩暈。齒痛。船車酒害。下痢。瘧疾等ノ諸症ニ亦能ク奇驗ヲ奏スルヲ
ル明治十年丁丑西南地方變擾ノ際辱クモ警視本廳ヨリ軍旅ノ用藥トシテ寶丹若干貼ノ進調ヲ命セラル實ニ独
ナリ今又試ニ去年（即明治十一年戊寅）中ノ計算ニ因レハ目下全國ノ人口三千五百万ニシテ其平均十六人中寶丹ノ
カ寶丹ノ實効アルヲ證スルニ足ル按スルニ今ヤ開明ノ聖世ニ遇シ衛生ノ道日ニ進ミ到ル所病院ノ設ケ國手ノ備アラザル
ナリト雖モ恐ラクハ若シ邊土ノ人々ニ於テハ論ナク縱ヘ都會ノ人ト雖モ深夜卒然急症ヲ發スルニ際シ直チニ之ヲ防ク藥
其機ヲ失シ貴重ノ生命ヲ忽棄スルコトナキニアラズ故ニ攝生ノ君子宜ク常ニ此寶丹ノ如キヲ備貯シ王ヒ若シ人アリテ其危
時ノ急迫ヲ救ヒ然シテ後病院ニ托シ或ハ良醫ニ仰キ的實ノ治療ヲ受シメバ必スシモ其天壽ヲ全フスルコトヲ得セシ
四ニ附セラレズ幸ニ顧省ヲ賜ハラハ眞ニ感銘ノ至リニ堪ヘザル也

月上浣　貞松堂　九世　守田治兵衛祐孝謹白

シ冬月ハ薄荷精氣ニ
時ニヨリ其形色ヲ變ズル
年月ヲ歴テ潤澤ヲ失ヒ
シ

一 寶丹を服して霍亂吐瀉を救ふ事

一 凡人氣分常にかはらず大便せんと欲し厠にいたると忽ち大ひに快よからず時に吐瀉を發することあり實に忽がせにすべからず此の如き容體あらば早く此寶丹の量二三分を冷水にて服し身體風にあたらざるやう暖にて臥しおだやかに心氣を安んずべし猶頻りに大便瀉らんとする氣味あらば再び二三分を服すべし猶その後も暖にて臥してあるならば足面部より漸々温氣を生じ後ち全身悉く汗を發し後小便の利ずることあるべし此のごとく汗發し小便の通利を得れば是その病ひ治するの徴なり然れども吐瀉は霍亂に陥るの兆あり一時寶丹を用ひて救ふことを得べしといへども左も其地に病院良醫の設けあらば速にこれに託し宜しく的實の療用を施し玉ハんこと尤緊要と云ふべし

○ 吐瀉の最も劇しく一時に吐瀉して二三度も過ぎざるうち忽頭面手足より厥冷又ハ屈氣悶絶するもあり然れどもいまだ胸中温あるものハ早く此藥一度に四五分を冷水にて口中までそゝぎ入て別に塩を炒熱し臍のあたり腰のまわり等を頻りに暖むべし藥氣の腹内に充るとなれば漸々身體に温を生じ終に其危急を救ふを寶丹の大効なるべし

○ 霍亂または中毒にて吐瀉するものハ別て腹痛つよしこれにも前の用ひ方にて奇効を得べし

官許本家賣藥所　東京池之端仲町貳拾七番所有地　守田治兵衛製

水邨嘉平刻

守田治兵衛

東京銀座貳丁目守田寶丹活板所 愛善社印行

起死回生 寶丹

癸未第一月定價改正

正味秤量

小器 六分 錫入	定價	金拾錢
中器 壹匁三分 錫入	定價	金貳拾錢
大器 貳匁 錫入	定價	金三拾錢

緒言

明治十六年歳次癸未第一月 爲 寶丹樓主人囑 友人 半顛 閑書

一抑此寶丹ヲ創シテ拙家ニ發行セシハ今ヲ去ル一十有八年載チ文久二年壬戌八月ナリ此際ヤ我カ全州各地ニ於テ偶麻疹及ヒ吐瀉大ヒニ行ハル爲ニ鬼籍ニ就ク者頗ル多シ幸ヒニシテ當時發行スル寶丹ノ如キハ能ク其吐瀉ヲ治スルニ實効アルヲ以テ其際一時世ニ聲譽ヲ得タリ然シテ亦此寶丹ハ効用啻ニ其吐瀉ヲ治スルニ止マルノミニアラズ或ハ中暑。霍亂。胸腹煩悶。一切氣絶。中毒。感冒。眩暈。齒痛。船車酒害。下痢。瘧疾等ノ諸症ニ亦能ク奇驗ヲ奏スルヲ以テ追次漸ク大江湖ニ行布シ既ニ去ル明治十年丁丑西南地方變擾ノ際辱クモ警視本廳ヨリ軍旅ノ用藥トシテ寶丹若干貼ノ進調ヲ命セラル實ニ拙家ノ光榮喜荷冣モ之ニ過サル所ナリ今又試ミニ去年(即明治十一年戊寅)中ノ計算ニ因レハ目下全國ノ人口三千五百万ニシテ其平均十六人中寶丹ノ壹小器ヲ賣附スルニ當ルヲ以テ聊カ寶丹ノ實効アルヲ證スルニ足ル按スルニ今ヤ開明ノ聖世ニ遇シ衛生ノ道日ニ進ミ到ル所病院ノ設ケ國手ノ備アラザルハナシ眞ニ衆庶ノ幸福ト云フベシ然リト雖モ恐ラクハ若シ邊土ノ人々ニ於テハ論ナク縱ヘ都會ノ人ト雖モ深夜卒然急症ヲ發スルニ際シ直チニ之ヲ防ク藥劑有ザレバ或ハ醫療ヲ求メシニモ其機ヲ失シ貴重ノ生命ヲ忽棄スルコトナキニアラズ故ニ攝生ノ君子宜ク常ニ此寶丹ノ如キヲ備貯シ玉ヒ若シ人アリテ其危篤ノ證ニ罹ラハ速ニ之ヲ施シ以テ一時ノ急迫ヲ救ヒ然シテ後病院ニ托シ或ハ良醫ニ仰キ的實ノ治療ヲ受シメバ必スシモ其天壽ヲ全フスルコトヲ得セシムベシ冀クハ大方ノ君子コレヲ贅語ニ附セラレズ幸ニ顧省ヲ賜ハラハ眞ニ感銘ノ至リニ堪ヘザル也

明治十二年龍集己卯七月上浣 貞松堂 九世 守田治兵衛祐孝 謹白

此藥夏月ハ滋潤ヲ生シ其蒿ヲ減シ冬月ハ薄荷精氣ニテ剤上ニ花氷ヲ結ビ或ハ調劑ノ天時ニヨリ其形色ヲ變ズルコトアレドモ効能ニ異別アルコトナシ尤年月ヲ歴テ潤澤ヲ失ヒ灰砂ノ如クナルハ藥力自然少ナカルベシ

一 寶丹を服して霍亂吐瀉を救ふ事

凡人氣鬱常にかからんば大便せんと欲し厠にいたると忽ち大ひに快よからず時に吐瀉を發することあり實に忽かせにすべからず此の如き容體あらば早く此寶丹の量二三分を冷水にて服し身體風にあたらざるやうに暖かに臥し心氣を安んずべし猶頻りに大便瀉らんとする氣味あらば再び二三分を服すべし猶その後も暖かに臥して足を温め漸く温氣を生じ後に全身悉く汗を發し後小便の通利を得るなり是その病ひ治するの徴なり然れども吐瀉いまだ止まず病急なる時は寶丹を用ひて一時を救ひ其地に病院良醫の設けあらば速かに之に托し宜しく的實の療用を施し玉んこと尤も緊要と云ふべし

○吐瀉の最も劇しく一時に吐瀉して二三度も過ざるうち忽ち頭面手足とも冷へ又は屈氣息絶るに至る然れども胸中温かなるものは早く此藥一度に四五分を冷水にて口中へそそぎ入れ別に鹽を炒熱し臍のあたり腰のあたり等に頻りに熨すべし藥氣

○腹内に充るを知れば漸く身體に温を生じ終に其危急を救ふも宝丹の大効なるべし霍亂ならびに中毒など吐瀉するものは別に腹痛つよしこれらは前の用ひかたにて奇効を得べし

官許本家賣弘所 東京池之端仲町 貳拾七番所有地 守田治兵衛製

水邨嘉平刻

起死回生 寶丹

癸未第一月良辰改版

文久二年始て是を製する所なれど近来ますます世に行はる良剤也その効すくなからず中暑をはじめ四時の瘴氣をうくる百毒を解す常に懐中し其機に臨んで之を服せば必ずその身をして健全無病の大幸を得ざることなし

官許本家 東京池之端仲町 貳拾七番所有地 守田治兵衛

近来拙家近傍の地に於て同姓名の者類似の寶丹を製し遠近各地へ行商をなし又拙家と其地名をいつわり仲町廿七番地の文字を用ひ紛らはしき看板を掲る者あり

[illegible]

酉六月良辰

九世嗣主 守田治兵衛

肅啓御清祥奉賀候近々赴任候ニ付別意ヲ表スル爲メ来ル六日午後一時鹿鳴館ニ於テ麁末ノ立食差進度御来臨被下候ハヽ大幸ニ御座候敬白

明治十九年六月二日

田中芳男殿

牧野伸顯
日下義雄

二白来ル四日迄ニ御来臨之有無鹿鳴館迄御一報奉煩候

田中芳男殿

福田會育兒院

記

一赤飯 二重

一蒸メ 壱重

右育兒中ヘ御施與被成下難有正ニ受納候也

明治十八年一月廿三日

於東京

福田會育兒院

田中様

東京福田會育兒院之章

米國種
紅蘿蔔 一号
洋名 レツド、タアニツプラヂシ

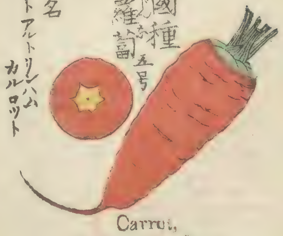
Radish,
Red Turnip.

東京三田育種場

三月下旬より九月上旬迄ニ堆糞を原肥として時々撒蒔し後人糞を施す五十日或は六十日ニして採るべし

東京三田育種場

米國種
胡蘿蔔 五号
洋名 レツトアルトリンハム カルロツト



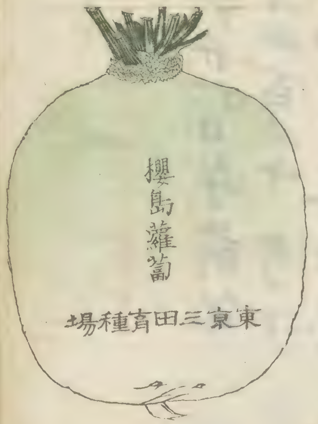
Carrot,
Red Altringham.

東京三田育種場

三月下旬より八月下旬迄ニ時々人糞を原肥として撒蒔し後人糞を施こし大抵廿日餘ニして採り生食すべし

東京三田育種場

夏の土用後廿日過きニ畦を切り油滓腐水を原肥として畦蒔きし苗を間引き後糞を施すこと五六度ニして十二月中旬ニ採るべし大なるを欲せば初より畦幅を廣くし明年の二月頃迄畑ニ留めて採り煮又は淪きて食すべし



櫻島蘿蔔

東京三田育種場

十月下旬堆糞を原肥として蒔付け翌年の二月下旬迄ニ二度畦を切り人糞を施し三月下旬ニ竿を立て五月中旬より次第ニ嫩莢を採る屋し

東京三田育種場

佛國種大莢豌豆 十号
洋名 ポアサンズパルシマン、ジヤーン、アトレ、ラージコツス

Pois sans parchemin
geant a tres-large cosse.

東京三田育種場

白菜

東京三田育種場

九月中旬より下旬ニ人糞を原肥として畦蒔きとし十一月上旬迄ニ二度人糞を施し十一月下旬より十二月上旬ニ採り漬菜とするニよろし菜中ニ於最上品とす

山東菜（さんとうな）

東京三田育種場

九月中旬より下旬ニ人糞を原肥として畦蒔きとして十一月上旬迄ニ二度人糞を施し十一月下旬より十二月上旬ニ採り漬菜とするニ宜し

東京三田育種場

九月中旬より下旬ニ人糞を原肥として畦蒔きとし十一月上旬迄ニ二度人糞を施し十一月下旬より十二月上旬ニ採り漬菜とするニよろし菜中ニ於最上品とす

山東菜（さんとうな）

東京三田育種場

松島

秋の彼岸より十月頃迄人糞を原肥として時々畦蒔し二度人糞を施し冬之月比ニ採り煮又は漬菜とすべし

體菜（たいさい）

東京三田育種場

明治十六年
賜褒狀
水産博覧會

名産
鯛

太白晒

南部
銘産

金製

水戸名産
亍浮亀
茨城縣水戸上市泉町
瀧金兵衛製

此ノ栗飴ハ自然含有スル所ノ成分ニ因テ左ノ効驗アリ
一唾液ノ分泌ヲ元進シ便通ヲ能クスルノ奇効アリ
一小兒ノ下劑ヲ嫌フ者ニハ此ノ栗飴ヲ代用シテ妙ナリ
其他急性喉頭加答兒氣管支加答兒ニ用ユレハ咯痰ヲ容易ニシ又肺労瘰癧及ヒ諸々ノ貧血症ニ久用シテ功アリ
但シ慢性胃加答兒脂肪過多密尿症ノ者ニハ用ユベカラズ

滋養
栗飴
越后高田下紺屋町
うふけや
本舗 小林七郎右衛門精製

大極上

御膳
寒晒
志ら玉の粉

御膳
寒晒
志ら玉粉

東京

開店廣告

各々樣益御安祥奉恭賀候隨て私儀酒醬油薪炭等營業罷在候處今般當所へ移轉仕元方仕入等別段引合を遂け都て大勉强を以御德用向之品相撰大安賣に差上申候間何卒開店當日より多少ニ限らす御用向之程偏ニ奉希上候也

酒　醬油

味噌　鹽

薪　炭

七月十二日

當日粗景呈上仕候

本郷區春木町貳丁目五十番地
舊近藤殿表門前
大美津彌左衛門

稟告

新發明

半けち手ふき用 純香水 定價 大瓶金貳拾錢 小瓶金拾錢

同 用 玫瑰精 定價 金貳拾錢

緒言　効用

抑も此二種ハ粧莊の美に長じたる彼の佛國に專ら行はるゝ香水の原質を集め數年之を徑驗して始て今茲に發賣するものなり尤も其品質及び芳香の佳否の如きハ一回壜口を開かバ諸彥の速に判定し得べきものなれバ爰に喋々しき贅言を載さず冀くハ御試用有つて高評を賜はん事を

○朝野の別なく常に是を貯へ置き半けち若くハ手拭ひ等へ少しづゝ滴らし用ゆる時ハ實に馥郁たる無上の清香を放ち自他の精神をして頗る爽快ならしむ故に諸集會及び宴會等に臨む時ハ勿論惡しき病の流行する際抔にハ最も貴重の要品なり

○此品を貯へ置時ハ香水香油を製する事即席自在なり

○賓客を待ふ業を營むもの（諸藝人等の類）ハ前にしるすの外手洗を遣ふ時水或ハ湯の中に一二滴をたらし用ゆれハ其身を清淨ならしめ頗る賓客をして滿足ならしむ

東京三番町五十六番地靖國神社脇

發明傳授人 內務省免許藥舖 雨宮綾太郎

製造發賣人 殺蟲油本舖 雨宮藤吉

現金

地本錦繪問屋

神田鍛冶町廿四番地

萬屋四郎兵衛

シホカマ

齋藤 出

石ノ巻

郵船會社蒸気船客

取扱所

加賀三

石ノ巻

郵船會社蒸気船客

取扱所

加賀三

官許

幾那鉄舎利別

定價　七日分入 金三拾錢　三週間分入 金七十五錢

緒言

一此幾那鉄舎利別ハ亞米利加國「ペンシルヴュニア」「地名なり」の大學校教師「ドクトル」ヘンリーハルツホールン先生の名方にして世間に有ふれたる尋常の賣藥とハ自ら異る處あるものなり故に其効能を左に記載して遍く之を服する諸君の一覽に供んと欲するなり希くハ他の賣藥と同一に見做事なく信を措て服用し給ハん事を

効能

抑も此幾那鉄舎利別の主能たるや人身體中に入て血液の不足を補ひ勢力を増し以て諸官能及び機器の運轉を活潑にす是則ち全く無病の健康體にして醫に病苦を訴へざる處なり依て是を保固強壯藥中第一等のものと云べきなり故に平常持病有人又ハ氣候の變換に感じ易きもの例之ハ夏日暑氣及時候に當り易きか或ハ年々脚氣を煩ふ者又ハ秋日の障氣に侵され易く或ハ瘧疾等を患るもの又ハ冬日風と引易きものハ何れも其萌有と思ハヾ少しも怠る事なく直に此藥を用て病と重くする事なかれ其内此藥の最も能く効を奏する症ハ年々脚氣と煩う症風と引易き症瘧疾を患るの三症なり此内瘧疾ハ土地により秋時の頃多く流行するものなり故に少しにても其萌有ときハ前に述る如く直に之を用て眞症に陥しむる事勿れ然れども此症に罹り易きものハ多く虚弱家貧血家にあり又風と引易きもの及年々脚氣と煩うものも又性質虚弱家貧血家なるものに多し其虚弱家貧血家なるものハ常に劇しき病苦非と雖ども何れも一の病休なり故に此藥を持長して用ゆる時ハ其虚弱家なるものをして健康ならしめ貧血家をして血液に富しめ依て以て體質を健康ならしむるが故に瘧疾引風及年々發する脚氣と防ぐに足るべし是方今有名の諸大醫先生の大に信ずる處なり故に此藥を瘧疾引風慢性脚氣等の豫防藥と云ふ又佳なり然れども無病健康のものに用て頓發する急性脚氣及其他の病を豫防するものと思ふ事勿れ是元來此藥ハ虚弱家貧血家を目的とするものなればなり又風土の異る地に至りて氣候の變及水の換り等に當りたるものに用て能く其障氣を拂ひ無病にして健康を保つ事妙なり

○老若男女の別なく總て性質虚弱なるもの又ハ諸病後或ハ産後の衰弱にて血液に貧しく面色青く唇白く眼目はつきりとせず身體倦怠して手足に力なく食物に味なく或ハ歩行に息逆し或ハ鬱滞をかき或ハ氣ふあゆうよして物事倦易く勉強の勞に堪がたく記憶わるく能物を忘れ抔するもの或ハ○勞症○肺病○胃弱○黄疸○血積○血の道一切○赤帶下○白帶下○月經閉○月經痛○經行異常○癲癇○舞踏病等其他衰弱諸症何れも是を持長連用すれバ其病悉く癒食思を増進し消化器を順調し血液を整復せ故に脈力旺盛して遂に健全無病の常態に至らしむる事更に疑有べからざるの良剤なり

○出血後の衰弱例之バ吐血衄血刀傷出血下血其他許多の原因有りて大に出血し後全身衰弱して顔面蒼白色となり氣重くしてふさぎ諸部に痲痺を起し或ハ折々頭痛眩暈立ぐらみ等の症を發するものに用て大に功あり

○男女とも老衰して身體の勢力弱く魂氣薄きものに用て能く氣力を増身體を強壯にし元氣自ら盛んになり長壽を保つ事妙なり

○婦人常に悪癖ありて(俗に云冷症)懐妊する毎に流産するものあり其症にハ之を長く用ゆれバ能其月を保ち平産し其兒を又大に健康なる事疑なし

○間歇熱後の衰弱に用て其再發の患を豫防し加之其身體を補整し忽ち平常の健康體に復せしむる事實に其効此藥の右に出るもの有事なし

用法

常の煎茶茶碗に水半分斗を入れ瓶の張札に記す處の小點一線則ち一度分を滴らし用ゆべし但し一日に三度右ハ大人の服量にして二十歳以下十五歳迄ハ半量を用以下ハ之に準ぞ

東京三番町五十六番地靖國神社脇
内務省免許藥舗　雨宮綾太郎
同舗賣藥方　雨宮藤吉

官許調製本舗

各地大販賣

東京瀧之端　寶丹本舗　守田治兵衛
同　銀座三丁目精錡水本舗　岸田吟香
同神田小柳町明治水製造元　森島松兵衛
大阪淡路町二丁目　日野九郎兵衛
同　高麗橋二丁目　救濟堂
甲州巨摩郡　鰍澤　雨宮英一郎

官許
養正膏効能

抑く此の養正膏は予家祖先傳來の秘法にして何如なる瘤疾にても癒へざるはなし是迄廣く施す其の効能の著るしきは偏く世人の知る所なり
○疥癬○小瘡○下疳○楊梅瘡○悪質膿汁○腰痛○肩胛の疼痛○全身處々疼痛○小兒頭瘡○打撲○挫傷の腐爛○灸痕の腐爛○其他諸腫物

用法

厚き紙又は木綿の切れ地に延し貼るべし○貼たるまゝ入湯するとも決して剝れる憂ひなし○痔痛等には木綿の切れ地に延し貼るべし其効能最も妙なり○總じて此の藥は自然に剝れるまで貼り置くべし

啓舜堂 陽由巳製
日本橋區蠣売町三丁目一番地

日光名産 六 風流細工

當山名木珍物細工
神代木細工品々
萬塗物卸小賣
御神橋通鉢石町二丁目北側
星野 仕入

陸前桃生
雄勝硯
玄昌石製硯
宮城集治監製

陸州名産
文房酒茶之器
名取川
埋木細工
仙臺國分町
本舗 積玉堂

標商 錄登

CAUTION

QUINA-CURACAO

SOLE ONLY BY

SHINASEI

MANUFACTORY TAKEGUCHKERKECH

2545

Ce vin est tonique, stomachique et fébrifuge. Bu avant de se mettre à table, il termine les digestions paresseuses et ouvre l'appetit ; apres le repas, il agit comme tonique, Pris le matin il est plus particulierement fébrifuge. Comme boisson d'agrement il est bien préférable au *vermouth*, au *bitter*, a et à toutes ces sortes de boissons plus ou moins chargees d'alcool, qui menent le consommateur journalier d'une maniere lente et insidieuse a l'*alcoolisme*.

抑此機那葡萄酒ハ原名QUINA-CURACAOト稱シ歐米各國ニ專ラ行ハル滋生上滋養良好ノ葡萄酒ニシテ海外ヘ洋行セシ者伍ハ既ニ熟知セルモノニテ茲ニ龍口氏數年ノ深刻苦心ニ結果漸ク其製法ヲ研究シ西洋釀造法ニ基キ今ヤ般官許ヲ被リ發賣スル處ノモノハ本場葡萄酒ニ機那及ヒ(キユルラソー)其質等ヲ專ラ滋養分ヲ含有シタルモノヲ混入シ實ニ强壯最大ノ良酒ニシテ世間普通ノ甘キ葡萄酒ノ比ニ非ス其効食前ニ用テ胃熱ヲ冷シ食后ニ用コレハ胃ノ動作ヲ助ケ總テ食物消化ヲ能クシ血液ノ不充分ヲ補ヲ且ツ其ノ味甘美ニシテ常ニ飲用ニ供シ精神ヲ爽快ナラシムル奇効ヲ奏スモノ四方ノ諸君高許アランヿヲ

刺繡及半襟類

大日本
京都府下
下京區第拾四組
四條通御旅町
四十九番地
本店
ゑり善事
山崎善助

我日本ニ釀ス酒ハ漸次薄造トナリ美味ヲ失フノミナラス腐敗シ易キヲ以テ百藥ノ名稱自ラ變シテ健康有害ノ誹ヲウク豈遺憾ナラスヤ故ニ予多年精神ヲ凝シ這回漸ク發明セル九重酒ノ如キ第一數年ヲ經ルモ腐敗スルノ憂ナク美味ニシテ健康上最モ益アリ加之極濃製ユヘ四五割ノ清水ヲ加ヘ通常清酒ノ上等品ニ比ス冀クハ江湖ノ諸彥試ミテ其虛ナ·ラザルヲ知リ玉ヘ

極古葉製
紙卷煙艸
百本入
長崎縣下浦五島町
岸川才一郎製

金貳十錢

健胃強壯
胃散
本舗 東京吳服町 太田信義
商標
明治十八年十月改正

品目

一乾白魚	東京府
一疊鰯	神奈川縣
一櫻鰕	茨城縣
一鰹節	靜岡縣
一乾鰈	福島縣
一煎海鼠	宮城縣
一生干鮑	千葉縣

TRADE MARK

標商 錄登

CAUTION

QUINA-CURAÇAO

SOLE ONLY BY

SHINASEI

MANUFACTORY TAKEGUCHKERKECH

2545

Ce vin est tonique, stomachique et fébrifuge. Bu avant de se mettre à table, il termine les digestions paresseuses et ouvre l'appetit; apres le repas, il agit comme tonique. Pris le matin il est plus particulierement fébrifuge. Comme boisson d'agrement il est bien préférable au *vermouth*, au *bitter*, a et à toutes ces sortes de boissons plus ou moins chargees d'alcool, qui menent le consommateur journalier d'une maniere lente et insidieuse a *l'alcoolisme*.

抑此機那葡萄酒ハ原名QUINA-CURAÇAOト稱シ歐米各國ニ專ラ行ハル、滿生上滋養良好ノ葡萄酒ニシテ海外ニ洋行セシ者ハ既ニ熟知セルモノニテ茲ニ龍口氏數年ノ來刻苦シ結果漸ク其製法ヲ研究シ西洋醸造法ニ基キ今般官許ヲ被リ發賣スル處ノモノハ本場葡萄酒ニ機那及ヒ(キユルアソー)質等ヲ專ラ滋養分ヲ含有シタルモノヲ混入シ實ニ強壯最大ノ良酒ニシテ世間普通ノ甘キ葡萄酒ノ比ニ非ス其効食前ニ用テ胃熱ヲ冷シ食后ニ用コレハ胃ノ動作ヲ助ケ總テ食物消化ヲ能クシ血液ノ不充分ヲ補ヒ且ツ其ノ味甘美ニシテ常ニ飲用ニ供シ精神ヲ爽快ナラシムル奇効ヲ奏スモノ四方ノ諸君高評アランヿヲ

極古葉製

紙卷煙艸

百本入

長崎縣下浦五島町

岸川才一郎製

我日本ニ醸ス酒ハ漸次薄造トナリ美味ヲ失フノミナラス腐敗シ易キヲ以テ百藥ノ名稱自ラ變シテ健康有害ノ誹ヲウク豈遺憾ナラスヤ故ニ予多年精神ヲ凝シ這回漸ク發明セル九重酒ノ如キ第一數年ヲ經ルモ腐敗スルノ憂ナク美味ニシテ健康上最モ益アリ加之極濃製ユヘ四五割ノ清水ヲ加ヘ通常清酒ノ上等品ニ比ス冀クハ江湖ノ諸彥試ミテ其虛ナラザルヲ知リ玉ヘ

品目

一乾白魚	東京府
一疊鰯	神奈川縣
一櫻鰕	茨城縣
一鰹節	静岡縣
一乾鰈	福島縣
一煎海鼠	宮城縣
一生干鮑	千葉縣

官許

牛肉羹

一名懷中ソップ

内務省衛生局東京司藥場定量試驗書
同東京試驗所定量分析告示書
御軍艦熱帶地方航海試驗書
頂好滋養食料

二十人前入 金八拾錢
十人前入 金四拾五錢
外ニ壹磅入半磅入ハ御註文次第直ニ調製且代價モ別段差働可申候

凡そ養生ハ心を養ふと體を養ふと二ツよして心を養ふハ人々性情の適する所よあり體を養ふハ飲食滋養を以て第一とすれハ其飲食の料ゐそ能く注意して無害有功のものを求むべきなり今山海動物の中にて滋養の功最著大なるハ牛肉の右よ出るもの有るなし而して其調理法ハ炙よ烹よ種々有りと雖も肉羹汁(即チソップ)の製を以て第一等の滋養飲料とせり抑肉羹汁の消化器よ入るや否胃を勞せずして速よ各部へ吸收し易く自ら血肉を豊充し隨て筋骨を強實ならしむる等滋養の功用枚擧するよ遑あらす敢て喋々を待ざる所なり方今人智日々よ開け世務太だ繁く搢紳學士より商賈藝術の士よ至るまで日夜勤勞する所多く腦漿を耕費し筋骨の刺戟を受ること素より昔日よ數倍あるを以て身體の健全を求護せざるべからず又病者或ハ稟性虚弱ある人ハ常よ最好の滋養食料を取り切よ補治を加ふるよ吸々たるへし而して其依頼もるや肉羹汁よ外あらず是を製するよハ少くも常よ三時間以上の光陰を費すを以て食前方丈牛を繫くの大家たりとも吐嗟に其用を辨するを得ず況んや旅行湯治航海及牛に乏しき地方よ於てをや縱令數金を抛つも一碗の羹汁を即時よ需むるを得ず嘗て聞歐人某氏肉エキスを製して大ひよ世よ珍重せられ其價格も亦高位を占め我國よも輸入すと雖も此越幾斯あるもの一種特異の臭氣あり歐米人ハ之を珍賞をべしと雖も我邦人の口腹よ適すべからず我國牛肉に乏しからず而るよ此製造あきを憂慮し則明治三年發意以來百術工夫を凝ふし臭氣を去り芳芬佳味の牛肉羹を發明し我同胞の服用に適せん事を研磨する爰よ年あり其製をる所最良よ至ると雖も猶有害物含有の懼有ふん事を顧念し恭しく内務省衛生局東京司藥場及東京試驗所並海軍省御軍艦遠洋航海之度每其試驗を願ひ逐次完全なる試驗書を授與せられ別紙印刷するの結果を得官準ニ因テ普く滋養家の需めよ供し併せて輸入の一緒を防らんとす伏して希くハ江湖愛國の諸君よ此良餌を飲用し長く日月と倶よ健全を保ち給ハん事を謹て誌そ

製造發明人 東京下谷區上車坂町四拾八番地 安達耐三

發賣本舖 東京神田區錦町壹丁目拾九番地 鮮研堂津田

服用法

○此牛肉羹ハ牛肉ソップを即時よ製をる原料とす此原料百分中よハ六十分有餘の含窒素物則最上の滋養分を含有せるものとす

匁程を茶碗或ハソップ皿よ入れ沸湯をそゝぎ匕或ハ箸等にて攪和溶解し食鹽を適宜ニ點すれハ極煖て美味を得へし鷄卵白魚野菜類等を點物として下物となし又は煮物に滋養分を增殖する爲め其添加物としまた雜炊粥等ニ點ずるもよし沸湯ニ換ゆるニ茶を煮出し溶解をるも一種優美の味ひを得べし胡椒粉ゐ生姜搾汁を點それハ胃の消化を補助をる功あり但牛肉羹の壹匁ハ三拾目の精肉にひとし

○此牛肉羹ハ健康體の滋養よ供をるハ勿論胃病肺病血液不足産前産後其他虚弱症殊よ病中絶食し既ニ絶あんとをる一命を繫續して藥力の顯ハるゝを待つの塲合ニハ此羹凡壹匁を食匙ニ壹貳はいの湯ニてをかし小匙よて幾度となく用ゆべし此際にも食物の代りよなるべきゆへ多量用ゆる程功力著明なり「チブス」等の強き熱症ニハ氷片を加へて渇を凌ぎ命脈を保護するよ必ず欠くへからざる飲料あり常用よハ朝夕よも毎食時ニ於ても適宜よして殊ニ夜間臨床の際五勺の酒ニ迷朦の夢を結ばんよりハ寧ロ壹碗の肉羹汁を喫をる時は終日費したる精神氣力を回復し却て安眠の快を得るニ奇功あらん去かしあがら患者よ用ゆるも醫家の指示よ隨ふべし

○大醫先生よりの御忠告よハ人よより粒食の差支ゆる事間々あり然る時は此肉羹凡壹匁よ葛粉、きなこ、片栗、小麥粉、餅米の粉、白玉粉、の類(其の人の好ミ次第)凡貳三匁を混和し葛湯の如くとかし鹽ゟ醤油ゟ砂糖よてよき程よ味を付け又あま粉をませたる時ハ一沸して飯の代用よ供すべし小兒乳の代用ニは葛又ハ小麥粉と砂糖を乳の味ニある程加味し粉の色のかわる迄沸湯をまぜうをくして吸乳器ニ入れ用ゆべしと由りて購客御參考の爲承り傳へ候儘を記そ

○近來類似の粗品を販賣する者有之趣ニて御得意樣方より御知らせを蒙り候儀間々御座候間表章記名御吟味の上御購求被成降度奉希上候也

販賣所

東京日本橋區本革屋町 藥種問屋 杉本宗吉
仝馬喰町三丁目十五番地 瀧本篤
仝檜屋町電氣温泉 川名湯
仝京橋區銀座二丁目 精錡水本舗 岸田吟香
仝築地采女町 藥舗 養元堂 高橋彌七
仝出雲町 ペプシチ飴本舗 福原資生堂
芝區出町四丁目七番地 資生堂 福原支店
牛込區宮比町壹番地 藥舗 尾澤豊太郎
神田區美土代町四丁目角 舶來飲食物舗 丸屋四郎
下谷區池之端仲町廿七番地 西洋小間物店 玉屋 江澤清兵衛
仝上車坂町廿九番地 藥舗 衛生堂 上原謙吉
淺草區淺草田圃 牛肉問屋 平埜亭 鈴木源造
四ッ谷區四ッ谷尾張町 牛肉店 平埜亭 鈴木支店
大坂府大坂平野町三丁目 大井卜新
仝淡路町二丁目 藥舗 日野九郎兵衛
仝松屋町通大手南ヘ入 理化學醫用器械舗 福井彌助
神奈川縣横須賀元町貳丁目 藥舗 栗田鍋五郎
愛知縣名古屋區京町四丁目 美濃屋文助
筑後國久留米通町壹丁目 今村次平支店 竹葉堂

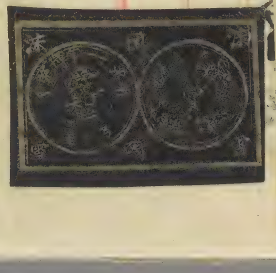
右之外各地取次所へ差出置候間御最寄御便宜之方ニ而御購求可被下候且亦受賣御望之方ハ御報知次第相當割引約定書遞送可仕尤見本御一覽被成度御方ハ前金壹圓御遞送被下候ハゝ弊家製品不殘取揃御送致可仕候也

製品目次

一 滋養食料 志氣之友 但牛肉製
一 滋養食料 津久多煮 但同上
一 滋養飴 但牛肉羹ニテ製ス

第百拾六號 従宇都宮 到上野

第六拾八號 従前橋 到上野



予ガ發明セル牛肉羹滋養ノ効能ハ東京司藥場ノ試驗表ニテ明瞭ナリ然レ𪜈未ダ熱帶地方搬運ノ試驗ヲ經サルヲ憂ヒ之レヲ萬年會ニ問ヒ或ハ有識家ニ謀ル會マ海軍大軍醫正七位勳六等村瀬三英氏ノ紹介ニ因リ御軍艦龍驤號「オーストラリヤ」洲航行ノ好機會ニ遭遇シ此第一試驗ノ本懐ヲ遂クルヲ得タリ然レトモ航海中幾日ヲ經テ腐敗スルヤノ度ヲ了知スルヲ得サリシカ第二筑波艦試驗ニ於テ之レヲ知ルヲ得從製造上精密ヲ加ヘ終ニ第三試驗成迹ヲ得ルニ至ル即チ左ノ試驗表全文ヲ印刷シ愛顧諸君ノ一覽ニ供ス

發明人安達耐三謹誌

第一號

龍驤艦ニ於テ牛肉羹試驗ノ成迹

維時明治十四年二月二日我海軍省所轄軍艦龍驤號横濱港拔錨「オーストラリヤ」洲ヘ航行スルニ際シ發明人安達耐三氏ノ請願ニ因リ熱帶地方搬運適否試驗成迹ヲ報告スルヿ左ノ如シ

明治十四年一月十二日製

一牛肉羹　六個　内 罐詰三個 瓶詰三個

明治十四年二月二日横濱港拔錨「オーストラリヤ」洲ニ向ツテ進航ス

三月十日仵航南緯十八度十七分東經百五十五度十四分

但二月廿五日赤道直下ヲ經過シ三月三日大陽直下ヲ經過ス赤道ヲ經ショリ十三日大陽直下ヲ經ショリ七日ナリ

今日瓶罐各一個ツヽヲ試シニ惡臭ヲ放タス實ニ善良厚味ノ「スープ」ヲ得タリ

七月二十日歸航北緯二十二度二十四分東經百五十度二十分

但本月四日赤道直下ヲ經過シ同十八日大陽直下ヲ經過ス赤道ヲ經ショリ十六日大陽直下ヲ經ショリ二日ナリ

今日瓶罐各一個ツヽヲ試シニ香味トモ前日ニ異ル無ク善良ニシテ毫モ腐臭ヲ生スルヿ無シ右ノ通リ已ニ赤道及大陽直下ヲ經過スルヿ二回ニシテ日數百六十八日製造セショリ百八十八日ナリ斯ク試驗ヲ經タル上ハ實用ノ品ニシテ多量ニ之レヲ製出セハ他日國産中有用ノ一位亦航海者ノ幸福ト言フヘシ

附言此試驗書ヲ授與セントスルニ際シ目今製造ノ品ヲ送リ來ルヲ見ルニ貯器ノ搆造及栓塞等更ニ注意ヲ加ヘ前條試驗ニ供セシ品ヨリ風味モ亦一層佳ナルヲ覺フ

明治十四年九月

海軍大軍醫正七位勳五等　河村豐洲

第二號

安達耐三氏製造牛肉熬試驗證

本艦ハ明治十五年三月四日品海拔錨新西蘭土ニ航ス航次香港「シンカポール」「バタビア」濠洲「メルボロン」及苔斯瑪尼亞ヲ經テ「ニユーゼーランド」濠備蘭土港ニ到リ

同年十月四日品海ニ歸航ス

明治十五年二月十五日製造ニ係ル栓塞陶罐詰二ヲ入[illegible]

[illegible]

第十五日ニ至リ漸ク異臭ヲ生ズ但シ開封ノ日ヨリ本日ニ至リ艦内ノ温度九十度乃至九十[illegible]度ノ間ニ昇降セリ

同年六月廿日濠兒勃[redacted]碇舶中一個ヲ開封ス其味前日試ムルモノト同一様ナリ之ヲ放置スヿ二週日其味更ニ變ナシ第四週ノ終ニ至リ表面ニ少シク茶褐色ノ稀液ヲ見ル第六週日及[illegible]香氣變セスト雖𪜈味少シク異ナルヲ覺フ但此際艦内ノ温度五十二三度乃至六十四五度ナ[illegible]

同年八月十九日新西蘭土濠備蘭[redacted]港 南緯三十六度五十分五秒 東經百七十四度四十九分 碇舶本日一個ヲ試ムルニ美味羹汁ヲ製シ得タリ

同年九月五日歸航ノ際赤道直下ニ於テ一個ヲ試ムルニ其味更ニ變易ナシ又之ヲ放置シ第十[illegible]一日ニ至リ僅々表面ニ液ヲ浮ブ其香味尚變セズ第十七日ニ至リ較々異臭ヲ生ズ但此際上甲[illegible]板ノ熱百十五度ニ昇ルト雖艦内ノ温度八十五六度乃至九十度ナリ

同年十月十日歸航后殘餘ノ罐ヲ試ムルニ佳良ノ羹汁ヲ得タリ

斯ノ如ク兩回赤道直下及大陽直下ヲ經過シ日數八閲月ニ及フモ更ニ其香味ヲ變易セス加之暑熱之候之ヲ開封放置スルモ尚一旬ノ久ニ耐ソ[redacted]テ航海者ニ必用ノ携帶食品タルヿヲ證ス

明治十五年十月

筑波艦醫官
海軍々醫少監　豐住秀堅

第三號

牛肉羹

試驗成迹

明治十五年十二月十九日我海軍省所轄軍艦龍驤號品川灣拔錨新西蘭[redacted]洲及南米利堅西海岸ヲ巡航スルニ際シ發明人安達耐三氏ノ請願ニ由リ熱帶地方運搬適否試驗ノ成迹ヲ報告スルヿ左ノ如シ

明治十五年十二月五日製

一牛肉羹陶罐詰 半ポンド入四個 二オンス入六個

明治十六年一月十三日北緯三度四十分東經百六十三度二十七分

但赤道直下ヲ通過スルノ前三日ナリ

同月卅一日南緯二十九度五十二分東經百七十二度三十九分

但同月十五日赤道直下ヲ通過セショリ十七日同月廿六日大陽直下ヲ通過セショリ六日ナリ

同年六月十八日北緯四度三十五分西經百三十二度十五分

但同月十五日赤道直下ヲ通過セショリ四日ナリ

右三ケ所ニ於テ牛肉羹第一回大壹個第二回小二個第三回大小二個都合五個ヲ開封セシニ更ニ變敗腐臭ノ兆無ク食味香氣共ニ善良ナル「スープ」ヲ製スルヿヲ得タリ

右之通リ赤道直下ヲ通過スルヿ二回太陽直下ヲ通過スルヿ一回日數百八十二日 出帆以後第三試驗ノ當日マデニシテ 凡上試驗ノ良成迹ヲ得タレハ後來熱帶地方及長途航行ニ從事スル艦船ニ於テ該品ヲ貯藏スル𪜈更ニ變敗腐壞ノ憂ヒナキヤ疑ヒヲ容レズ

明治十六年十月

海軍中軍醫從七位　山本景行

滋養食料牛肉羹一名懐中ソップ
鮮研堂精製

CONDENSED MILK.

DRAGON-FLY

CONDENSED BY

TOKIO CONDENSED MILK Co.

This PRESERVED MILK is made out of Milk and sugar of best quality. We have long been anxious that our own country [illegible]ble to produce the good milk of this kind. As we heard [illegible] 15th year of Meiji that there was invented in Nōmu[illegible] perfect method of manufacturing the condensed [illegible]arned the method from that office, and had began [illegible]turing from the December of the same year. After [illegible]xperiences, we have succeeded in getting it and in the [illegible] of Meiji, we have acquired, from our government, [illegible]or of having manufactured the excellent kind of con[illegible]milk ever produced.

The condensed milk sold by our company is distinguished from those of others by the trade mark.

TOKIO CONDENSED MILK Co.
Koiimacho, Asakusa, Tokio, Japan.
大日本東京煉乳會社製

DIRECTIONS.

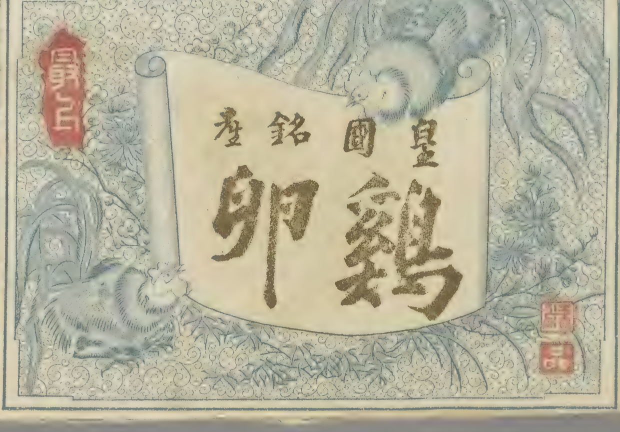
Open the [illegible]an by cutting the tin nearly around, and let it remai[illegible]artly open.

To remov[illegible]the Milk, use a *dry spoon.*

For Cust[illegible]s, Puddings, &c., add water in the proportion of [illegible] pints to the pound, to suit the taste: it can be u[illegible] in Tea and Coffee without diluting.

For Ice [illegible]am, dilute with water in such proportions as to [illegible]t the taste, and it is ready for the Freezer.

SUGAR [illegible]ILK may appear, granulated or crystalized in [illegible]: it dissolves in warm or hot water. This prove[illegible] Milk is pure, and not having undergone a ch[illegible] before or during the process; the crystals rea[illegible]dissolve.



予カ發明セル牛肉羹滋養ノ効能ハ東京司藥場ノ試驗表ニテ明瞭ナリ然レモ未タ熱帶地方搬運ノ試驗ヲ經サルチ憂ヒ之レチ萬年會ニ問ヒ或ハ有識家ニ謀ル會々海軍大軍醫正七位勳六等村瀨三英氏ノ紹介ニ因リ御軍艦龍驤號「オースタラリヤ」洲航行ノ好機會ニ遭遇シ此第一試驗ノ本懐チ遂クルヲ得タリ然レトモ航海中幾日ヲ經テ腐敗スルヤノ度チ了知スルヲ得サリシカ第二筑波艦試驗ニ於テ之レチ知ルヲ得益製造上精密ヲ加ヘ終ニ第三試驗成迹ヲ得ルニ至ル即チ左ノ試驗表全文ヲ印刷シ愛顧諸君ノ一覽ニ供ス

發明人安達耐三謹誌

第一號

龍驤艦ニ於テ牛肉羹試驗ノ成迹

維時明治十四年二月二日我海軍省所轄軍艦龍驤號橫濱港拔錨「オースタラリヤ」洲ヘ航行スルニ際シ發明人安達耐三氏ノ請願ニ因リ熱帶地方搬運適否試驗成迹ヲ報告スルヿ左ノ如シ

明治十四年一月十二日製

一牛肉羹　六個　内 罐詰三個 瓶詰三個

明治十四年二月二日橫濱港拔錨「オースタラリヤ」洲ニ向ツテ進航ス

三月十日往航南緯十八度十七分東經百五十五度十四分

但二月廿五日赤道直下ヲ經過シ三月三日大陽直下ヲ經過ス赤道ヲ經シヨリ十三日大陽直下ヲ經シヨリ七日ナリ

今日瓶罐各一個ツヽヲ試シニ悪臭チ放タス實ニ善良厚味ノ「スープ」ヲ得タリ

七月二十日歸航北緯二十二度二十四分東經百五十度二十分

但本月四日赤道直下ヲ經過シ同十八日大陽直下ヲ經過ス赤道ヲ經シヨリ十六日大陽直下ヲ經シヨリ二日ナリ

今日瓶罐各一個ツヽヲ試シニ香味トモ前日ニ異ル無ク善良ニシテ毫モ腐臭チ生スルヿ無シ右ノ通リ巳ニ赤道及大陽直下ヲ經過スルヿ二回ニシテ日數百六十八日製造セショリ百八十八日ナリ斯ク試驗ヲ經タル上ハ實用ノ品ニシテ多量ニ之レヲ製出セハ他日國産中有用ノ一位ナ航海者ノ幸福ト言フヘシ

附言此試驗書ヲ授與セントスルニ際シ目今製造ノ品ヲ送リ來ルヲ見ルニ貯器ノ構造及栓塞等更ニ注意ヲ加ヘ前條試驗ニ供セシ品ヨリ風味モ亦一層佳ナルヲ覺フ

明治十四年九月

海軍大軍醫正七位勳五等　河村豐洲

第二號

安達耐三氏製造牛肉煮試驗證

本艦ハ明治十五年三月四日品海拔錨新西蘭土ニ航ス航次香港「シンカポール」「バタビア」濠洲「メルボロン」及苔斯尼亞ヲ經テ「ニユーゼーランド」濠偏蘭土港ニ到リ同年十月四日品海ニ歸航ス

明治十五年二月十五日製造コロク栓塞陶罐詰二弖入

[illegible]

第十五日ニ至リ漸ク異臭チ生ズ但シ開封ノ日ヨリ本日ニ至リ艦内ノ温度九十度乃至九十四度ノ間ニ昇降セリ

同年六月廿日兌勃[illegible]碇船中一個ヲ開封ス其味前日試ムルモノト同一樣ナリ之ヲ放置スルヿ二週日其味更ニ變ナシ第四週ノ終ニ至リ表面ニ少シク茶褐色ノ稀液チ見ル第六週日及ヒ香氣變セスト雖モ味少シク異ナルチ覺フ但此際艦内ノ温度五十二三度乃至六十四五度ナリ

同年八月十九日新西蘭土濠偏蘭[illegible]港（南緯三十六度五十分五秒 東經百七十四度四十九分）碇船本日一個チ試ムルニ美味ノ羹汁ヲ製シ得タリ

同年九月五日歸航ノ際赤道直下ニ於テ一個チ試ムルニ其味更ニ變易ナシ又之チ放置シ第十一日ニ至リ僅々表面ニ液チ浮ブ其香味尚變セズ第十七日ニ至リ較々異臭ヲ生ズ但此際上甲板ノ熱百十五度ニ昇ルト雖艦内ノ温度八十五六度乃至九十度ナリ

同年十月十日歸航后殘餘ノ罐チ試ムルニ佳良ノ羹汁チ得タリ

斯ノ如ク兩同赤道直下及大陽直下チ經過シ日數八閲月ニ及フモ更ニ其香味チ變易セス加之暑熱之候之チ開封放置スルモ尚一旬ノ久ニ耐ヘ[illegible]テ航海者ニ必用ノ携帶食品タルヿチ證ス

明治十五年十月

筑波艦醫官
海軍々醫少監　豐住秀堅

第三號

牛肉羹

試驗成迹

明治十五年十二月十九日我海軍省所轄軍艦龍驤號品川灣拔錨新西蘭[illegible]洲及南米利堅西海岸チ巡航スルニ際シ發明人安達耐三氏ノ請願ニ由リ熱帶地方運搬適否試驗ノ成迹チ報告スルヿ左ノ如シ

明治十五年十二月五日製

一牛肉羹陶罐詰 半ポンド入四個 二オンス入六個

明治十六年一月十三日北緯三度四十分東經百六十三度二十七分

但赤道直下チ通過スルノ前三日ナリ

同月卅一日南緯二十九度五十二分東經百七十二度三十九分

但同月十五日赤道直下ヲ通過セショリ十七日同月廿六日大陽直下チ通過セショリ六日ナリ

同年六月十八日北緯四度三十五分西經百三十二度十五分

但同月十五日赤道直下ヲ通過セショリ四日ナリ

右三ケ所ニ於テ牛肉羹第一回大壹個第二回小二個第三回大小二個都合五個ヲ開封セシニ更ニ變敗腐臭ノ兆無ク食味香氣共ニ善良ナル「スープ」チ製スルヿチ得タリ

乍之通リ赤道直下チ通過スルヿ二回太陽直下ヲ通過スルヿ一回日數百八十二日（出帆以後第三試驗ノ當日）ヨマテニシテ以上試驗ノ良成迹ヲ得タレハ後來熱帶地方及長途航行ニ從事スル艦船ニ於テ該品ヲ貯藏スルモ更ニ變敗腐壞ノ憂ヒナキヤ疑ヒヲ容レズ

明治十六年十月

海軍中軍醫從七位　山本景行

食料牛肉羹一名懐中ソツプ
鮮研堂精製

CONDENSED MILK.
DRAGON-FLY

CONDENSED BY
TOKIO CONDENSED MILK Co.

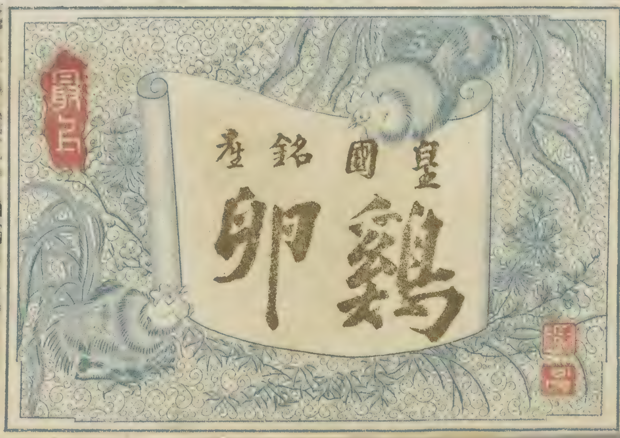
This PRESERVED MILK is made out of Milk and sugar of best quality. We have long been anxious that our own country ble to produce the good milk of this kind. As we heard 15th year of Meiji that there was invented in Nomu- perfect method of manufacturing the condensed arned the method from that office, and had began turing from the December of the same year. After periences, we have succeeded in getting it and in the ar of Meiji, we have acquired, from our government, or of having manufactured the excellent kind of con- milk ever produced.

The condensed milk sold by our company is distinguished from those of others by the trade mark.
TOKIO CONDENSED MILK Co.
Koiimacho, Asakusa, Tokio, Japan.
大日本東京煉乳會社製

DIRECTIONS.

Open the an by cutting the tin nearly around, and let it remai artly open.
To remo the Milk, use a *dry spoon*.
For Cust s, Puddings, &c., add water in the proportion of pints to the pound, to suit the taste: it can be u in Tea and Coffee without diluting.
For Ice am, dilute with water in such proportions as to it the taste, and it is ready for the Freezer.

SUGAR MILK may appear, granulated or crystalized in : it dissolves in warm or hot water. This prove Milk is pure, and not having undergone a ch before or during the process; the crystals rea dissolve.



牛肉羹の滋養に富める事ハ内務省衛生局東京司薬場第四百拾壹号定性試験書まて充分ありと雖其含有せる各成分徴明ならされは自から隔靴搔痒の感ありと作得意様方より御懇諭の厚き方針ヨ随ひ今般同局東京試験所江相願ひ檢第九拾貳号定量分析告示書御下付を得たり因て最前之分と併せて印刷し優渥なる諸彦の參考に供す

第四百拾壹号牛肉羹試験書

願人　安達耐三

試験上有害物を檢出せず食用に供して滋養となるへし

明治十四年四月廿七日　東京司薬場

牛肉羹分析告示

願人　府下々谷上車坂町　安達耐三

一檢第九拾二号　水製　牛肉羹　壹種

本品ハ黄褐色稠厚ノ越幾斯ニシテ殆ント水ニ全溶シ臭味共ニ異狀ナシ而メ本品ヲ分析スルニ其百分中各成分ノ量ハ左ノ如シ

冷水不溶解分	〇、〇五〇
熱湯不溶解分	〇、二六五
酒精不溶解分	三二、一二五
水分	二四、八三五
脂肪	痕跡
窒素	九、九六〇
灰分	一三、七五〇

灰百分中鹽素及燐酸ノ量ハ左ノ如シ

鹽素	六、三〇六
燐酸	三七、三九八

右ノ試驗成績ニ據レハ本品ハ善良ノ性質ヲ具有スルモノナリトス

明治十八年十二月　衛生局東京試驗所

檢明部長　内務一等技手　田原良純

檢査主任　内務八等技手　須田勝三郎

第壹五四号　専賣特許　十四年九月三十日　臭氣止　便所用紙　定價金四銭

有功賞牌　専賣薬用牛肉ソツプ

壹合ニ付　金四銭

毎日壹合宛壹ケ月以上壹割引

此ソツプハ諸大醫化學士等ノ試験ヲ受ケ奨社ノ創製ニ係ル専賣品ニシテ各所ノ博覧會ニ於テ屡〻賞牌ヲ受領シタル世間無比ノ良剤也滋養ノ効アル蓋シ此ソツプノ右ニ出ヅル者ナカルベシ五勺以上ハ遠近ニ拘ハラズ日〻配達仕候間苟モ摂生ニ御注意ノ諸君ハ陸續御注文アランヿヲ乞フ

内務省衛生局試驗所御檢査濟　精良牛乳　壹合　金三銭

ソツプト共ニ日〻配達仕候

製造専賣元　小石川小日向水道町七番地　健全社

此外曩キニ専賣特許ヲ得タル湯入火熨斗（ヒノシ）○便利米磨桶○米磨用ノ濾器（コシキ）ノ三種ハ製作中ニ付近日發賣仕候

外國種　桃砂糖煮

大日本農會　三田育種場試製

廣告

九月十七日(第三金曜日)より同十九日(第三日曜日)まで三日間
京橋區木挽町貳丁目拾四番地本會々堂厚生館に於て

○第十六回農産品評會

右は蔬菜、果實、製茶其他諸種の農産を蒐集品評し列品は公衆の來觀を許す

明治十九年八月

大日本農會

家傳巻

効能書

一 沸珍の花は白粉之義ハ家傳を以て他家の[illegible]製法とし[illegible]年中製法仕[illegible]顔の[illegible]白くして艶を出しきめ細やか[illegible]能く白ひを保ち白粉一切の[illegible]暑さの時も汗の[illegible]寒さの[illegible]数の[illegible]用ひ[illegible]

紅白粉 小間物店 永樂軒製

沸珍の花

[illegible]

氷のみの[illegible]油[illegible]香

[illegible]

櫻香本舗

東京上野車坂町

守田重兵衛謹製

明石
名産 鯛の友

月に名高き明石の浦の鯛鯖を以て製せし鯛の友風味ハ鮮魚に勝れば割烹にもはの上席料理にしても諸何の御土産に日数を経ても味替らねば広く御愛顧御購求ほどを願ひ上
其ハ御用ゐ方ハ醤油二三滴を點じ沸湯をさしても用ふ

明石西魚町
壽賀精堂

塩お法

牛込
細工町
和田屋
鈴木

拝啓先般送葬ノ節ハ御會葬
ニ預リ殊更御弔儀ヲ領シ感
銘之至ニ奉存候此度佛事相
營候ニ付茶菓呈仕度併テ
御禮申上候頓首

明治十九年五月

陽　其二

田中芳雄様

田中芳雄様

陽　其二

日本橋區蠣殻町三丁目壹番地

明治十八年二月七日夕於鹿鳴館

獻立

一羹汁 重焼 牛髓合製

一魚肉 鯛洋品合製蒸煑 鳥肉重焼製添ル

一鳥肉 鷄肉重冷製寄物

一獸肉 鹿腹肉葡萄酒製

一獸肉 牛脊肉玉葱製

一製酒 洋酒入氷製

一鳥肉 雉子蒸焼製洋菜

一蔬菜 野天門冬牛酪製

一蔬菜 鞘眉児豆製

一製菓 洋林檎木實蒸製

一製菓 氷製紙包

一製菓 菓實製菓數品

挿入資料

MENU

DU DINER DU 7 FEVRIER 1885

A ROKOU-MEI-KUWAN.

Bisque aux crevettes.
Bouchées à la Monglas.
Tâi garni sauce Colbert.
Pain de volailles à la Moderne.
Côtelettes de chevreuil sauce poivrade.
Filet de bœuf sauce Soubisse.
Punch à la Romaine.

Faisans rôtis; Bread sauce. Salade
Asperges au beurre fondu.
Haricots verts sautés.
Pommes à la Richelieu.
Bisquits glacés en caisses
Desserts assortis.
Café.

挿入資料